宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事

機械設備

図面番号	図面内容
M－00	図面リスト
M－01	機械設備　工事仕様書１
M－02	機械設備　工事仕様書２
M－03	機械設備　工事仕様書３
M－04	機械設備　工事仕様書４
M－05	機械設備　工事仕様書５
M－06	配置図
M－07	１階平面図
M－08	２階平面図
M－09	３階平面図
M－10	ＰＨ階平面図
M－11	ＲＦ階平面図
M－12	空調設備　機器表　（改修前・改修後）
M－13	配管・ダクト系統図　（改修前）
M－14	配管・ダクト系統図　（改修後）
M－15	ＰＨ階機械室詳細図１（改修前）
M－16	ＰＨ階機械室詳細図１（改修後）
M－17	ＰＨ階機械室詳細図２（改修前）
M－18	ＰＨ階機械室詳細図２（改修後）
M－19	ＲＦ階　冷却塔廻り詳細図（改修前）
M－20	ＲＦ階　冷却塔廻り詳細図（改修後）

機械設備

図面番号	図面内容
M－21	１Ｆ　ダクト詳細図　（改修前・改修後）
M－22	２Ｆ　ダクト詳細図　（改修前・改修後）
M－23	自動制御計装図（１）
M－24	自動制御計装図（２）
M－25	ＰＨ階機械室　自動制御設備（改修前）
M－26	ＰＨ階機械室　自動制御設備（改修後）
M－27	ＲＦ階　屋上　自動制御設備（改修前）
M－28	ＲＦ階　屋上　自動制御設備（改修後）
E－01	電気設備　１階平面図
E－02	電気設備　２階平面図
E－03	電気設備　Ｒ階・屋上平面図

建築意匠

図面番号	図面内容
A－01	特記仕様書
A－02	配置図
A－03	各階平面図
A－04	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ改修平面図
A－05	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ改修断面図
A－06	1階宿直室.2階事務室廻り改修図

平成24年07月

株式会社 浦建築研究所

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 表紙・図面リスト	縮尺	図番 M－00

工 事 仕 様 書 （機械設備）

Ⅰ．工 事 概 要

1. 工 事 名 称　宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事

2. 工 事 場 所　宝達志水町子浦地内

3. 完 成 期 日　平成　　年　　月　　日

4. 建 物 概 要

建　物　名　称	構　造	階　　　数	延面積（㎡）	消防令別表第一	備　考
宝達志水町役場庁舎	RC	３階建(地階　階.塔屋１階)			

5. 別契約の関連工事
- ・建築工事　・電気設備工事　・給排水衛生設備工事　・空気調和設備工事　・暖房設備工事
- ・冷房設備工事　・電話設備工事　・合併処理設備工事　・昇降機設備工事　・自家発電設備工事
- ・屋外付帯工事　・植栽工事　・厨房機器設備工事　・　・

6. 工 事 種 目 （●印を付けたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工 事 種 別	屋　内	工　事　種　別				
● 冷　暖　房　設　備	一式					
● 換　　気　　設　　備	一式					
● 自 動 制 御 設 備	一式					
● 撤　　去　　工　　事	一式					
● 電 気 設 備 工 事	一式					

7. 指定部分　・無　　・有（指定期日：平成　　年　　月　　日）　対象部分（　　　　　　　　）

8. 工 事 内 容

- ・ 冷温水発生機・冷却塔の入替工事
  上記に伴う、配管・保温・電源・自動制御工事
- ・ 1,2階　全熱交換器の入替工事
  上記に伴う、ダクト・電源・自動制御工事
- ・ 熱源機の省エネの届出　　⊙要

9. 設備概要（〇印を付けたものを適用する）

方式及び種別	設　　備　　内　　容
空調方式	・ダクト方式　・ＦＣＵ方式　⊙ＦＣＵダクト併用方式 ・パッケージ方式
暖房方式	・温水暖房　・蒸気暖房　・温風暖房
主熱源	⊙吸収式冷温水発生機
自動制御方式	⊙電気式　・電子式　・デジタル式
給水方式	・水道直結式　(3階直結給水)　・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ制御水中ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ（井水）
排水方式	建物内汚水、雑排水（・分流　・合流　） 建物外放流 1)　汚　水　・直放流下水管　・合併処理槽　・単独処理槽 2)　雑排水　・直放流下水管　・合併処理槽　・沈澱分離槽　・側溝
消火設備の種別	・屋内消火栓設備　・スプリンクラー設備　・泡消火設備 ・不活性ガス消火設備　・粉末消火設備　・屋外消火栓設備 ・連結散水設備　・連結送水管　・消火器
ガスの種別	・都市ガス(種別 13A ，発熱量　46.0　MJ／Nm³　，供給事業者名　金沢市企業局　) ・液化石油ガス

Ⅱ．工 事 仕 様

1. 一 般 仕 様

1) 新築工事において図面及び本工事仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２２年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成２２年版）」（以下、「標準図」という。）による。

改修工事において図面及び本工事仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２２年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び標準図による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は標準仕様書による。

2) 耐震設計・施工については国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2005年版）」による。

仕様書を適用する。

2. 特　記　仕　様

1)　章、項目は●印の付いたものを適用する。
2)　特記事項のうち選択する項目は・印に〇の付いたものを適用する。

章：● 一般共通事項

〇技能士の適用
- ・配管施工(配管工事)　・建築板金施工(風道製作及び取付け)　・熱絶縁施工(保温工事)
- ・冷凍空気調和機器施工(チリングユニット．パッケージ形空気調和機の据付け及び整備)　(1-1.5.2)

〇機材等

1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの、又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。　(1-1.4.2(a))

2) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品は下記による。　(1-1.4.1(a))

「公共工事」の品目
- ・吸収冷温水機　　・氷蓄熱式空調機器
- ・ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機　　・排水用再生硬質塩化ビニル管
- ・自動水栓　　・自動洗浄装置及びその組み込み小便器
- ・水洗式大便器　　・下塗用塗料（重防食）

グリーン購入法の判断基準、配慮事項を満たすことを確認する。

3) 化学物質を発散する建築材料等　(1-1.4.1(b))
本工事の建物内部で使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。
- ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
- ③ 下記表示のあるJAS規格品
  - a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
  - b．接着剤等不使用
  - c．ホルムアルデヒドを発散しない材料使用
  - d．ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
  - e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用
  - f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用

〇機材の品質・性能証明

1) 設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受ける。　(1-1.4.1(C))
なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

2) 本工事で使用する設備機材等は、指定表に規定するもの、又は、これらと同等のものとする。なお、「評価名簿」に規定するものについては、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新年版）」（(社)公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとする。　H20.4.1 改訂

3) 石川県建設工事標準請負契約約款(以下「請負契約約款」という。)第6条の2第4項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願を提出し、工事完了時及び年度末時に当該年度の結果報告を行う。

4) 主要機材は、発注前に「使用予定機材一覧表」を提出して監督職員の確認をうける。

5) 請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。　(1-1.4.5)
- ・衛生器具　・空調機器　・ダクト及び付属品　・消火機器　・塗装材料
- ・合併処理槽　・厨房機器　・ポンプ類　・熱源機器　・タンク類　・排水金具

〇保険の付保及事故の補償

1．請負者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
2．請負者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。
3．請負業者は、建設業退職金共済制度に加入し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結後１ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。　H20.4.1改訂

〇工事の実績情報の登録

請負金額1,000万円以上のものは登録を行う。（但し、工事請負代金額1,000万円以上2,500万円未満の工事については、受注時のみ登録するものとする。）　(1-1.1.4)　H19.10.1改訂

〇中間検査

中間検査の実施　・有　（　　　回）　・無　(1-1.6.2(2))
実施時期　・天井下地完了時　・

〇公共事業労務費調査等に対する協力

・　請負者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査に対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。又、工期経過後においても同様とする。
1）調査票等に必要事項を正確に記入、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
2）調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
3）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の資金時間管理を適切に行わなければならない。
4）対象工事の一部について下請け工事を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

⊙　本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。　H20.4.1 改訂
⊙　本工事は「共通費実態調査」の対象であるため、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。　H21.4.1 改訂

〇部分払いの対象工事材料

請負契約約款第37条第１項に定める部分払いの対象とする工事材料は次のものとする。
・配管　・機器　・器具　・

●保険

請負契約約款第49条に定める火災保険等は次のものとする。（加入期間は完成期日+14日）
・火災保険　・建設工事保険　⊙組立保険
※ 但し、建築工事に含まれた契約による場合には上記によらない。

●監督職員事務所

⊙設けない　・設ける[・１号　・２号　・３号　・４号　・５号]
(10㎡程度) (20㎡程度) (35㎡程度) (60㎡程度) (100㎡程)
監督職員事務所に設ける備品等
・保護帽　・安全帯　・長靴　・合羽　・机　・椅子　・懐中電灯
・書棚　・黒板　・寒暖計　・　・　(2-4.1.1.(2))

●下請負人

下請負人の決定については工事着手前に下請負人通知書を提出すること。
下請負人は、建設業の許可を有する者を選定するよう努め、下請負人の許可書の写しを提出すること。

●工事報告書

工事の進捗度表、作業員の出面報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月月末ごとに提出する。　(1-1.5.3)

●施工計画書

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。　(1-1.2.2)

●工事写真等の記録

1) 工事写真の撮影は、建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第二版）」による。　(1-1.2.4)
2) 請負契約約款第14条第３項に定める工事写真は次のものとする。
・地中埋設配管部　・機器の基礎及びアンカーボルト埋設部　・保温・塗装工程
・天井、トレンチ内の隠ぺい箇所
3) 区分による規格、枚数、部数は次による。

区　分	分　類	規　格	撮　影　枚　数	部数	備　考
着工前	カラー	サービス版	監督員の指示による	部	Ａ４版に整理の上、工事期間中は現場事務所に保管し、工事完成時に提出する。
工事中	カラー	サービス版	監督員の指示による	１部	
完成時	カラー	サービス版	監督員の指示による	部	Ａ４版に整理したもの

4) 完成写真は次による。
・建築写真撮影業者の撮影した写真とする。　・建築写真撮影業者以外の写真でもよい。
5) 写真はＡ４版スクラップブック又は市販アルバムに順序よく貼付け、説明事項を記入して提出する。
6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

章	項目	特記事項
●一般共通事項	●官公署への手続	工事に必要な官公署などへの手続は請負者が遅滞なく行う。 関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材及び労務等を提供し、これに直接要する費用を負担する。 (1-1.1.3)
	●経費の負担	この工事に必要な一切の仮設費及び諸経費等は、設計図書に明記のある場合の外は、請負者の負担とする。 (1-1.1.3)
	●工事用電力・水その他	この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。 構内既存の施設を ⊙ 利用できる ⊙ 利用できない (2-4.1.1)
	○敷地状況等の確認	工事の着工に先立ち地下に埋設された配管、ケーブル等の有無を関係機関の協力を得て確認し報告すると共に、事故を未然に防ぐよう留意する。 (1-1.1.12) 改修部分は、事前調査を行う。 (1-1.3.5(d))
	●公衆災害防止等	建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守して災害の防止と建設副産物の適正な処理に努める。 (1-1.3.7)(1-1.3.9)
	●工事用仮設物	構内につくることが ・ できる ⊙ できない (2-4.1.1) （すべて請負者の負担とする）
	○足場、さん橋類	・ 別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の類は無償で使用できる。 ・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書第1編2.1.1による） 　・ 枠組本足場（手すり先行足場） 　「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成15年4月策定）により、「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行足場型とするか、または改善措置機材を用いて、手すり先行足場型と同等の機能を確保する。 　・ 枠組本足場
	○残土処理	・ 場内敷均し ・ 場内指示場所に堆積 ⊙ 場外搬出適切処理 (2-4.2.1)
	○埋め戻し土	・ 根切り土の中の良質土(ただし管の周囲は山砂) ・ 山砂 (2-4.2.1)
	○再使用機器	取外した再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。 (改1-1.2.3)
	●総合調整	本工事として下記の項目の測定表を提出する。 (2-1.3.2) 総合調整の項目 ・ 風量調整 ⊙ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・騒音の測定 ・振動の測定 ・飲料水の水質測定（水道法施行規則第10条による水質検査） 測定箇所は監督員の指示による。
	●電動機	換気扇、圧力扇、厨房機器その他これらに類するものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい. (2-1.2.1)
	●容量等の表示	1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 2) 電動機、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	○案内板	機器等の取扱い方法及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。 (1-1.7.4)
	●製作図・施工図	主要機材の製作図、施工図は原則として、製作または施工開始予定日より30日以前で監督員の指示する時期に提出する。 (1-1.2.3)
	○完成図等及び保全に関する説明書の提出	建物配置図及び屋内外配管図、系統図等を作成し、原図及び陽画複写紙(製本２部)と保全に関する説明書(３部)を提出する。完成図については縮小版３部を提出する。 (1-1.7.2)(1-1.7.3) また、完成図等のＣＡＤデータを提出する。 管理者のための建築物の保全の手引き(営繕部監修)に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造所名、連絡先等を記載の上提出する。 なお、別契約建築・設備工事がある場合は、その請負業者との連携の上作成する。
	●試験成績表、取扱説明書の提出	各機器の試験成績表、取扱説明書は、それぞれ２部を工事完成図書とともに一括して提出する。 (1-1.7.3)
	●予備品等の引渡	予備品（付属品を含む）は、引渡し目録を添えて工事完成図書とともに提出する。また鍵等はプラスチック名称板を付けて提出する。 (1-1.4.3)(1-1.7.5)
	○過積載等の防止	1)積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと 2)さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと 3)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること 4)取引関係のあるダンプカー事業車が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示等を土砂等運搬使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること 5)建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当にに害することのないようにすること 6)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和４２年８月２日法律第１３１号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第１２条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 7) 1)から6)につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること (1-1.3.6)

章	項目	特記事項
●一般共通事項	●工事現場の表示板	工事現場には、下記掲示板を設置する。 （記入例） (1-1.3.6) 上段の地色は白色 文字は青色／下段の地色は青色 文字は白色 工　事　名 工 期 自 年 月 日～至 年 月 日 （監 修） 設 計 監 理 施 工 建 築 （業者名を記入） 電 気 （業者名を記入） 給排水 （業者名を記入） 空 調 （業者名を記入） 60cm (75cm)　90cm （　　）内は、監修を委託した場合。 業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。
	●名札の義務	請負金額1,000万円以上の工事における現場代理人及び主任（監理）技術者は名札を常時着用する。 ○○建設㈱社員証 氏名 △ △ 太 郎 発行日 平成１４年３月１日 代表者 □□建一 代表印 （顔写真） カラー写真 貼 付 （注意事項） ①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は名刺サイズ（縦5.5cm、横9.1cm）とする。 ②顔写真（ｶﾗｰ）の寸法は縦4.0cm×横3.0cm、また撮影する部分は胸から上の上半身とする。 ③ｹｰｽの寸法は用紙が入る大きさとする。尚、市販されているのは、縦7.3cm×横10.2cmがある。
	●耐震施工	次に示す事項を除き、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成８年版）」による。 機器の重量（kgf）に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度（ ()内の値は水槽類に適用する） （下表） （注） 上層階の定義は次による。 ２～６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、 10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階 2) 設備機器の固定方法及び計算は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2005年版）」による。 3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし水平地震力と同時に働くものとする。 4) 100kg以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
	○他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなどその他工事との取り合いは、別表－１によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せる。 (1-1.1.7)
	○見本品の提出	請負契約約款第１４条第３項に定める見本は次のものとする。 (1-1.4.2(f)) ・ 保温用外装材及び補助材 ・ 管継手 ・ ガス、油用弁及びコア弁 ・ 排水金具 ・ 管接合シール ・ フランジ用ガスケット ・ 地中埋設標、埋設表示テープ
	○配管	1) ステンレス鋼管の接合方法は、呼び径60SU以下の場合は(⊙プレス ⊙拡管 ・)とする。ただし、溶接の困難な箇所は拡管接合としてもよい。 (2-2.5.6) 2) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、給水管、消火管、ガス管を除く。 標準図（・ （ａ） ・ （ｂ） ⊙ （ｃ））による。 (2-2.4.1(C)) 3) 異種接合の場合は、標準仕様書第2編2.5.16による。接合要領は標準図（異種管の接合要領）による。 (2-2.6.17)
	○管の埋設深さ	埋設深さは原則として、構内道路は(⊙ 60cm ・ cm)、一般敷地は(⊙ 30cm ・ cm)とする。 (2-2.7.2)
	○スリーブ等	(2-2.8.1) つば付き鋼管スリーブと配管との隙間は水密性のあるシーリング材によりシーリングする。

設計用標準水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 特定施設 ○ 甲類（重要機器、一般機器）	耐震安全性の分類 特定施設 ● 乙類（重要機器、一般機器）
上層階 屋上及び塔屋	２．０	１．５
中間階	１．５	１．０
一階及び地階	１．０ (1.5)	１．０

章	項目	特記事項
●一般共通事項	●電線	電線及びケーブルの規格は、標準仕様書第4編2.4.1表4.2.12による。 (4-2.4.1)
	●はつり	コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	●防凍保温	屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレン管、弁類を含む)は防凍保温を行う。その種別は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5による。(ただし、給水管及び消火管、ドレン管は 第２編3.1.5表2.3.5の e.(ハ)とする。保温材の厚さは呼び径25mm以下のものは30mm、呼び径32mm以上のものは40mm以上とする) (2-3.1.4)(2-3.1.5)
	●塗装	下記の露出金属電線管は塗装を行う。 (2-3.2.1.1) ⊙ 屋外 ⊙ 屋内（ ・機械室 ・ ・ ） 下記の亜鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。 ・ 機械室 ・倉庫 ・電気室 ・自家発室 ・ＥＶ機械室 ・
	○吊り及び支持金物	（ ・ 水槽内 ・ 屋外露出 ）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）又は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 (2-2.6.3)
	●工事監理用図面	工事設計図を１部、縮小版（Ａ３）を２部製本し現場事務所におくものとする。
	○工事の創意工夫等	請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 (1-1.5.7)
	○電子納品	・ 行う ・ 行わない ※別表－３「電子納品仕様書」による。
	○近接工事の諸経費調整	この工事の受注者が、近接する区域（概ね100m）において、工期が重複する石川県土木部発注の工事を受注している場合には、全工事との合計額により定まる率によって諸経費を再計算し、これにより変更契約（減額）する。
	○総合評価時おける技術提案	本工事の受注時において、「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づき落札者からの「技術提案」がある場合は、その技術提案内容を本工事において確実に履行する。 履行後、請負者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。 なお、請負者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員と協議するものとする。 H20.4.1 改訂
	○景観への配慮	・当該工事は、石川県公共工事事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施行に努めること。 H21.4.1 改訂
●空気調和暖房設備	① 設計温湿度	（下表）
	② 煙突	⊙ 既設 (3-1.1.9)
	③ 煙道	鋼板製(・ 3. 2mm ⊙ 4. 5mm)

設計温湿度

	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	屋内 一般系統 温度(DB)	屋内 一般系統 湿度(RH)	屋内 温度(DB)	屋内 湿度(RH)	屋内 温度(DB)	屋内 湿度(RH)
夏期	34.1 ℃	57.0 %	26.0 ℃	50.0 %	℃	%	℃	%
冬期	-0.5 ℃	66.0 %	22.0 ℃	40.0 %	℃	%	℃	%

章	項目	特記事項
● 空気調和暖房設備	4. ばい煙濃度計	・ 設ける (3-1.1.10)
	5. ばいじん量測定口	・ 設ける(測定口は径80φとし、取り付け箇所は煙道の直線部とする) (3-1.1.9)
	6. ダクト	低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 (3-1.14) ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） ・ スパイラルダクト 高圧１ダクト（適用範囲は図示による）
	7. 風量測定口	取り付け箇所は(・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト ・ 外気取入れダクト (3-1.14.10) ・ 空調機出口チャンバーの分岐ダクト ）
	8. チャンバー	1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (3-1.14.5) 2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 3) 外壁に面するガラリーに取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する
	9. 防煙ダンパー	操作方法 瞬時通電式又は電動式 (3-1.15.8) 復帰方式(・ 遠隔) 定格入力はＤＣ24Ｖ、0.7Ａ以下とする。
	10. ﾋﾟｽﾄﾝﾀﾞﾝﾊﾟｰ	復帰方式(・ 遠隔) (3-1.15.10)
	⑪ 配管材料	1) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼管(黒) ・ (2-2.1.2.2) 還 管 ・ 配管用炭素鋼管(黒) ・ (2-2.1.2.2) 2) 油管 屋 内 ⊙ 配管用炭素鋼管(黒) 地中埋設 ・ ポリエチレン被覆鋼管(２層管)（ＰＬＰ） 屋外露出 ・ 塩化ビニル被覆鋼管（ＰＬＶ） ピット内 ・ ポリエチレン被覆鋼管(１層管)（ＰＬＳ） 3) 冷温水管 ⊙ 配管用炭素鋼管(白) ・ (2-2.1.2.1) 4) 冷却水管 ⊙ 配管用炭素鋼管(白) ・ (2-2.1.2.1) 5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラーへの給水管は配管用炭素鋼管(白)とする。 6) 給水管 ⊙ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 ・ (2-2.1.2.4) 7) 排水管 ⊙ 配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管（VP） (2-2.1.2.5) 8) 冷媒配管 ・ 銅管 ・断熱材被覆銅管 (2-2.1.2.3)
	⑫ 弁類	・ JIS又はJV（⊙ 5K ・ 10K（図示部分）） (2-2.2.1) ・ 鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	⑬ 温度計	取付部は下記による。なお温度計は円形指示計（バイメタル式）とする (2-2.3.2) 1) 冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ② 直だき吸収冷温水機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） 3) ボイラーの温水管（返り） 4) 空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置の冷温水管（返り） 5) 熱交換器の冷温水管（送り、返り） 6) 冷温水ヘッダーの往ヘッダー及び各返り管 7) 空気調和機の（パッケージ形を含む）のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンバー 8) 温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンバー
	⑭ 圧力計	取付部は下記による (2-2.3.1) 1) 冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ② 直だき吸収冷温水機の冷温水管(送り、返り)及び冷却水管(送り、返り) 3) 空気調和機の冷温水管(送り、返り) 4) 熱交換器の冷温水管(送り、返り)
	⑮ 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、形式及び取付部は下記による。 なお、着脱形の指示計は(・ 40Ａ用 個 ・ 100Ａ用 個 ・ 250Ａ用 個)タッピング付とする。 (2-2.3.7) 1) 冷凍機の冷水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・ 着脱形 ・ 固定形)を設ける。 2) 直だき吸収冷温水機の冷温水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・ 着脱形 ⊙ 固定形)を設ける。 3) 空気調和機の冷温水管(送り又は返り)に(・ 着脱形 ・ 固定形)を設ける。 4) 冷温水ヘッダーの（ ・送り管 ・ 返り管 ）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。
	16. 油面制御装置	制御盤には(・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・)の端子を設ける。 なお油面制御装置と制御盤間配管配線は製造者の標準仕様とする。 (2-2.3.5)
	17. 絶縁フランジ	図示の箇所に取り付ける。 (2-2.2.10)
● 空気調和暖房設備	⑱ 保温及び消音内貼り	標準仕様書第２編３．１．４による。ただし、下記については本仕様による。 (2-3.1.4) 1) 冷水管、冷温水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４表２．３．２によるが，防火区画貫通部分はロックウール保温材で行う。 2) 還りダクトの保温(保温の厚さ 25mm)範囲は図示による。 3) 外気ダクトの保温(保温の厚さ 25mm)範囲は図示による。 4) ダクトの保温外装は下表による。

屋内露出	倉庫、物入	・ カラー亜鉛鉄板	・ アルミガラスクロス
屋内露出	各階機械室	・ カラー亜鉛鉄板	・ アルミガラスクロス
屋内露出	主機械室	・ カラー亜鉛鉄板	・ アルミガラスクロス
屋内露出	居室、廊下等	・ カラー亜鉛鉄板	
屋内隠ぺい、ＤＳ内		⊙ アルミガラスクロス	
屋外露出、多湿箇所		・ ステンレス鋼板	

5) 配管の保温の外装は下表による。(冷媒管は除く)

屋内露出	倉庫、物入	・ 綿 布	・アルミガラスクロス
屋内露出	各階機械室	・ 綿 布	・アルミガラスクロス
屋内露出	主機械室	・ 綿 布	⊙アルミガラスクロス
屋内露出	居室、廊下等	・ 綿 布	・
屋内隠ぺい、ＤＳ内		・ アルミガラスクロス	
屋外露出、多湿箇所		⊙ ステンレス鋼板	

6) 膨張管及び膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の膨張管の項による。 (2-3.1.4)
7) 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の膨張管の項による。 (2-3.1.4)
8) 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．５の排水管の項による。 (2-3.1.5)
9) 冷媒管の保温の外装は下表による。なお、保温化粧ケースは耐候性を有する樹脂製とする。

屋内露出	・ 綿 布	・ 保温化粧ケース
屋外露出	・ ステンレス鋼板	・ 保温化粧ケース

章	項目	特記事項
● 換気設備	① ダクト	低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 (3-1.14.1) ⊙ コーナーボルト工法（ ⊙ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） ⊙ スパイラルダクト 高圧１ダクト（適用範囲は図示による）
	2. 風量測定口	取り付け箇所は (3-1.14.10) (・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト)とする。
	3. チャンバー	空気調和暖房設備の当該項目による。 (3-1.14.5)
	4. 防煙ダンパー	空気調和暖房設備の当該項目による。 (3-1.15.8)
	5. ﾋﾟｽﾄﾝﾀﾞﾝﾊﾟｰ	空気調和暖房設備の当該項目による。 (3-1.15.10)
	6. 排気ダクトのシール	Ｎシール＋Ａシール＋Ｂシールをする系統は下記による。 (3-2.2.1(5)) ・ 厨房系統 ・ 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統
	⑦ 保温	・ 全熱交換器用の外気及び排気ダクト（保温の厚さ 25mm） 保温種別は標準仕様書第２編3.1.4とする。 ⊙ 外気取入ダクト（保温の厚さ25mm）＜全熱交換器用は、１次側のみ＞ ⊙ 排気ダクトで外壁から1m以内の部分(保温の厚さ 25mm) (2-3.1.4)
	8. 耐火措置	自家発電機室用換気ダクトが自家発電機室以外を通過する場合の耐火措置は図示による。
○ 排煙設備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ (3-2.2.6)
	2. 排煙口の形式	・ 天井取付(・スリット形 ・ パネル形) (3-1.15.5) ・ 壁取付 （ ・スリット形 ・ ）
	3. 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式は下記による。 (3-1.15.5) ・ ワイヤー式 ・ 電気式（遠隔操作 ・ 不要 ・ 要）
	4. 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書2005年版（(財)日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
● 自動制御設備	① 中央監視制御	・ 有り（ ・ 新設 ⊙ 既設 ） ・ 無し (4-2.3.1)
	2. 中央監視制御装置の構成・機能	図示による。 (4-2.3.2)
	3. 電気計装工事の配線	電線、ケーブルはＥＭ電線等とする。（機器、盤類は除く） (4-2.4.1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

章	項目	特記事項
○ 衛生器具設備	1. 小便器用節水装置	図面に特記なき場合は、洗浄水量が4L/回以下であり、また、使用状況により洗浄量を制御するものとする。 (5-1.1.2) ・ 個別感知フラッシュ方式(・ 埋込形 ・ 露出形 ⊙ 便器一体形) ・ タイムスイッチ方式(・) 長時間不洗浄を補償する洗浄機構を設ける。
	2. 小便器洗浄用ハイタンク	・ 露出 ・ 隠ぺい (5-2.1.2.6)
	3. 小便器洗浄管	・ 埋込(SGP-PD) ・ 露出 (5-2.1.2.8)
	4. 大便器洗浄弁	図面に特記なき場合は、洗浄水量が10.5L/回以下とする。 (5-1.1.2.10)
	5. 大便器耐火カバー	・ 設ける(ピット内は除く) ・ 設けない
	6. 手洗器	・ 止水栓付とする。 (5-1.2.14)
	7. 衛生器具	・ 水抜栓を使用する場合は、水栓は固定こま式とする。 (5-1.1.9)
	8. 水栓	・ 台所流し用水栓は泡沫式とする。
	9. 自動水栓	電源供給方式はAC100Vとする。 (5-1.1.15)
	10. 水石鹸入れ	・ 横形（押しボタン） ・ 立形 ・ アンダー形 (5-1.1.14)
	11.排水金物	材質は標準仕様書第５編1.7.1のほかステンレス製としてもよい。 H21.4.1 改訂
○ 給水設備	1. 引込工事金 水道加入金	・ 要（・別途工事 ・ 本工事） 既設撤去工事(25A)共 ・ 要（・別途工事 ・ 本工事）
	2. 量水器	・ 親メーター(・ 貸与品 ・) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2-2.2.14)
	3. 量水器桝	・ 水道事業者指定品(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 標準図 ＭＣ形 (5-1.8.4)
	4. 配管材料	1) 一般配管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管（PB） ・ ステンレス鋼管 (2-2.1.2.4) ・ 厨房、浴室等のシンダー内配管はポリ粉体ライニング鋼管（PD） 2) 地中埋設配管（建物内） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（PD） ・ ステンレス鋼管 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） 3) 屋外埋設給水管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管（PD） ・ ステンレス鋼管 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） 4) 給水引込管（量水器の１次側）は水道事業者の指定によるものとする。
	5. 弁類	・ 水道直結部分 JIS又はJV（ ・ 10K ・ ） (2-2.1.2.4) ・ その他部分（井水） JIS又はJV（ ・ 5K ・ ） 水道直結配管（3階直結）は、金沢市企業局基準による。
	6. 水栓柱	・ 人造石研出し製 ・ 合成樹脂製 ・ アルミニウム製 (2-2.2.19)
	7. 絶縁フランジ	図示の箇所に取り付ける。 (2-2.2.10)
	8. 保温	下記のタンクは保温を行う。 (5-1.2.4.3) ・ 鋼板製高置タンク ・ 鋼板製受水タンク
	9.建物導入部配管	標準図（・ （ａ） ・ （ｂ） ・ （ｃ））による。 (2-2.4.1)
	10. 地中埋設標	1) 地中埋設標 ・ 要 ・ 不要 2) 埋設表示テープ(倍折金属箔付き) ・ 要 ・ 不要 (2-2.7.1)
	11.受水槽	1) 材質・形状 ・鋼板製一体形 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙ（溶接組立） ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙ（ﾎﾞﾙﾄ組立） ・FRP製一体形 ・FRP製ﾊﾟﾈﾙ 2) 仕様区分 ・屋内 ・屋外 ・標準型 ・耐雪型（・積雪 ｍ ・ ）
	12.高架水槽	1) 仕様区分 ・屋内 ・屋外 ・標準型 ・耐雪型（・積雪 ｍ ・ ）

章	項　　目	特　　記　　事　　項
○ 排水設備	1. 配管材料	1) 屋内汚水管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火２層管（VP）　・ 2) 屋内雑排水管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火２層管（VP）　・ 3) 排水通気管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火２層管（VP）　・ 4) 屋外排水管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　・ コンクリート管 5) ポンプアップ排水管　・排水用タールエポキシ塗装鋼管 6) 管の継手　・ 配管用炭素鋼管（白）の接合は、標準仕様書第２編2.1.2.5による MDジョイントを使用してもよい。
	2. 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
	3. 満水試験継手	図示箇所に取り付ける。
	4. ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝・ため桝	標準図によるコンクリート桝及び小口径桝
○ 給湯設備	1. 配管材料	給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラーなどへの補給水管を含む。）は ・ 銅管　・ ステンレス鋼管　・ 耐熱性塩ビライニング鋼管（・ SGP-HVA　・　） とする。ただし、銅管を使用する場合で壁又は床埋設箇所は、被覆銅管又は保温付被覆銅管としてもよい。
	2. 弁類	・ JIS又はJV（・ 5K　・ 10K(水道直結）） ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	3. 絶縁フランジ	図示の箇所に取り付ける。
	4. 保温	標準仕様書による。
○ 消火設備	1. 配管材料	1) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ　一般　・ 配管用炭素鋼管(白) 地中　・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） 2) 連結送水管　一般　・ 配管用炭素鋼管（白） 地中　・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS）
	2. 屋内１号消火栓箱	・ HB - 1A　・ HB - 1B　・
	3. 易操作性１号消火栓箱	・ HB - 1A　・ HB - 1B　・
	4. 屋内２号消火栓箱	・ HB - 4A　・ HB - 4B　・
	5. 屋内消火栓開閉弁	・ 10K
	6. 地中埋設管の接合	外面被覆鋼管の呼び径 100A 以下はねじ接合とする。
	7. 保温	屋外露出部で凍結する恐れがある箇所には、標準仕様書第２編３．１．５の給水管の項による保温を行う。（防凍保温は一般共通事項による。）
	8. 建物導入部配管	標準図（・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。
	9. 地中埋設標	1) 地中埋設標　・ 要（図示の箇所）　・ 不要 2) 埋設表示テープ(倍折金属箔付き)　・要　・ 不要
○ 厨房機器設備	1. 機器の寸法	参考寸法とする。
	2. 燃焼機器	使用ガス(・ 都市ガス　・ 液化石油ガス)
	3. 機器の固定	標準仕様書によるほか、次の機器は固定する。（・　・　）
	4. システム	・ ドライシステム　・ ウェットシステム

章	項　　目	特　　記　　事　　項
○ ガス設備	1. 配管材料	1) 屋内　・ 配管用炭素鋼管(白) 2) 屋外地中埋設　・ ポリエチレン被覆鋼管(２層管)（PLP）・ ガス用ポリエチレン管 3) 屋内地中埋設　・ ポリエチレン被覆鋼管(２層管)（PLP）・塩化ビニル被覆鋼管（PLV） 4) 屋外露出　・ 塩化ビニル被覆鋼管（PLV）　・ 配管用炭素鋼管(白) 5) ピット内　・ 塩化ビニル被覆鋼管（PLV）
	2. 充填容器	・ 別途(・ 50Kg　・ 20Kg　・ 10Kg ）×　本
	3. 集合装置	標準図「液化石油ガス容器廻り配管要領」による。（　）本立て。
	4. 転倒防止等	標準図（・(ａ)　・(ｂ)）による。
	5. メーター	・ 親メーター(・ 貸与品　・　）・ 子メーター(・ 買取　・　）
	6. ガス漏れ警報器	・ 本工事（図示による）　・ 別途工事 外部警報端子(・ 無　・ 有)
	7. ガス遮断装置	・ 要　・ 不要
	8. 漏洩検知装置	・ 要　・ 不要
	9. 電気防食	・ 要　・ 不要
	10.建物導入部配管	標準図（・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。
	11.地中埋設標	1) 地中埋設標　・ 要　・ 不要 2) 埋設表示テープ（倍折金属箔付き）　・ 要　・ 不要
○ さく井設備	1. 既設井戸調査	・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）　・ 不要 （調査、揚水試験、水質試験）
	2. ｹｰｼﾝｸﾞ材料	・ 鋼管　・ ＦＲＰ製　・　・
	3. ｽｸﾘｰﾝの位置	GL―　m 〜　m
	4. 連続揚水試験	・ 要（・ 24時間　・　時間 ）　・ 不要
	5. 水質試験	・ 行う
○ 合併処理設備	1. 配管材料・弁類	図示による。
	2. 山止め	山止め壁　・ 要　・ 不要
	3. 手続等	官公署への手続又は変更手続は、契約後30日以内とし、請負者が代行処理する。 （手続き等にかかる費用はすべて請負者の負担とする。）
	4. 測定表	放流水質の測定表を提出する。
	5. 維持管理	工事完成引渡後６ヶ月間は請負者が維持管理し、７条検査を実施する。
○ 融雪設備	1. 配管材料	1) 送水管　・ 2) 散水管　・
	2. ノズル・ドレン	材質はステンレス製とし、形式は図示による。
	3. 弁類	・ 図示による　・ 図面に特記なき場合はJIS又はJV 5Kとする。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
● 撤去工事	① 撤去内容	図示による。
	② 保温材	保温材は、配管・ダクトより分離する。
	③ 支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事にて撤去する。
	4. 冷媒(ﾌﾛﾝ類)の回収	フロン類を使用している機器の処理は下記による。 1) 関係法令 ・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法） ・ 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） 2) 業務用冷凍空調機器等（エアコンディショナー、冷蔵機器、冷凍機器等）で「フロン回収破壊法」の対象となっている機器 ・ 「第一種フロン類回収業者登録通知書」の写しを提出 ・ 「フロン類回収証明書」を提出 3) 家庭用のエアコン等で「家電リサイクル法」の対象となっている機器 ・ 「特定家庭用機器廃棄物管理表」の写しを提出
	⑤ 発生材の処理等	引渡しを要するものは指定された場所に整理のうえ、調書を添えて監督員に引き渡す。 ・ なし　・ あり（・　・　・　） 特別管理産業廃棄物 ・ なし　・ あり（・ 廃石綿等　・　・　） 請負業者は、適正な処理をマニフェストにより確認し、マニフェスト一覧表を監督員に提出して、監督員の確認を受ける。 再生資源化を図るもの ・ なし　・ あり（・ 塩ビライニング鋼管、継手　・ 硬質ポリ塩化ビニル管、継手　・　）

（別表－１）他工事との取り合い

工　事　内　容			機械設備	電気設備	建築工事	備　　考
開口部	はり・床・壁の貫通部（ＲＣ造）	スリーブ・仮枠				
		補強筋				
		穴埋め				
	天井・壁の切り込み	切り込み	●			
		下地補強			●	
天井の点検口					●	
全熱交換器撤去用ステージ			●			
天井解体・復旧工事					●	
機器の電源工事			●			
機械基礎（増打）工事			●			

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 機械設備工事 工事仕様書－４	縮尺	図番 M － 4

設備機材等指定表（機械設備）

（別表－２）　配管（バンド）塗装色標準

色バンド（機械室等で２本以上の配管が並ぶ所）			室内露出配管塗装色
配　管　区　分	マンセル記号	日本塗料工業会	
給水管	5BG9/2	R9-631	原則として壁面に合わす
排水管	N9	R1-1031	〃
給湯管	7.5R8.5/4	R6-148	〃
ガス管	2.5Y8/12	R35-308	〃
消火栓管	7.5R4/15	R38-163	〃
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ配管	10R5.5/14.5	R38-134	〃
連結送水管	7.5R4/15	R38-163	〃
二酸化炭素配管	7.5R4/15	R38-163	〃
泡消火管	7.5R4/15	R38-163	〃
冷温水管	2.5P5/5	R19-937	〃
温水管	5R7/7	R29-151	〃
冷却水管	5B5/6	R13-741	〃
冷水管	10B6/7	R19-737	〃
ドレン管	5PB4/6.5	R23-806	〃
油配管	7.5YR5/6	R21-214	〃
蒸気管	7.5R3/6	R27-143	7.5R3/6(R27-143)

（別表－３）電子納品仕様書

1. 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
   ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領(案)等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名　　　　称	摘　　要
建築CAD図面作成要領（案）	平成14年11月
営繕工事電子納品要領（案）	平成14年11月
工事写真の撮り方（改訂第二版）－建築設備編－	
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	平成14年11月

基準・要領類のダウンロード　：　http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm

2. 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-Rで1部納品する。なお、工事写真については、カラープリンタで出力したものでよい。

3. 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。

4. 発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。

5. 工事完成図書の提出の際は、以下の項目を確認するものとする。
   1) 電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認すること。
      入手先：http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/supportsys.htm
   2) 最新のウイルスチェックソフトで、提出物にウイルスが混入していないことを確認すること。
   3) 電子納品の媒体はCD-Rを利用することとする。

ＪＩＳ品目

品　　目	機　　材　　名	適　用　範　囲	記　　　　事
管及び継手	鋼管		ＪＩＳ　Ｇ　３４５２ （配管用炭素鋼管）
	スケジュール鋼管		ＪＩＳ　Ｇ　３４５４ （圧力配管用炭素鋼鋼管）
	ステンレス鋼管		ＪＩＳ　Ｇ　３４４８ （一般配管用ステンレス鋼管）
	銅管		ＪＩＳ　Ｈ　３３００ （銅及び銅合金継目無管）
	ビニル管		ＪＩＳ　Ｋ　６７４１ （硬質ポリ塩化ビニル管）
			ＪＩＳ　Ｋ　６７４２ （水道用硬質ポリ塩化ビニル管）
	ポリエチレン管		ＪＩＳ　Ｋ　６７６２ （水道用ポリエチレン二層管）
	コンクリート管		ＪＩＳ　Ａ　５３７２ （遠心力鉄筋コンクリート管）
	鋼管及び外面被覆鋼管継手		ＪＩＳ　Ｂ　２３０１ （ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手）
			ＪＩＳ　Ｂ　２３０２ （ねじ込み式鋼管製管継手）
	鋼管継手		ＪＩＳ　Ｂ　２３０３ （ねじ込み式排水管継手）
	ビニル管継手		ＪＩＳ　Ｋ　６７３９ （排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手）
			ＪＩＳ　Ｋ　６７４３ （水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手）
弁	青銅弁		ＪＩＳ　Ｂ　２０１１ （青銅弁）
	鋳鉄弁		ＪＩＳ　Ｂ　２０３１ （ねずみ鋳鉄弁）
			ＪＩＳ　Ｂ　２０５１ （可鍛鋳鉄１０ｋねじ込み形弁）
			ＪＩＳ　Ｂ　２０６２ （水道用仕切弁）
	鋳鋼弁		ＪＩＳ　Ｂ　２０７１ （鋼製弁）
保温材	ロックウール保温材		ＪＩＳ　Ａ　９５０４ （人造鉱物繊維保温材）
	グラスウール保温材		
	ポリスチレンフォーム 保温材		ＪＩＳ　Ａ　９５１１ （発泡プラスチック保温材）
衛生陶器 及び水栓	衛生陶器		ＪＩＳ　Ａ　５２０７ （衛生陶器）
	水栓		ＪＩＳ　Ｂ　２０６１ （給水栓）
放熱器付属品	放熱器トラップ		ＪＩＳ　Ｂ　８４０２ （暖房用放熱器トラップ）
接合材	溶接棒		ＪＩＳ　Ｚ　３２１１ （軟鋼用被覆アーク溶接棒）
			ＪＩＳ　Ｚ　３３２１ （溶接用ｽﾃﾝﾚｽ鋼溶加棒及びソリッドワイヤ）

水マーク表示品目

品　　目	機　　材　　名	適　用　範　囲	記　　　　事
管及び継手	塩ビライニング鋼管	ＳＧＰ－ＶＡ （一般配管用）	ＪＷＷＡ　Ｋ　１１６ （水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管）
		ＳＧＰ－ＶＤ （地中配管用）	
	ポリ粉体鋼管	ＳＧＰ－ＰＢ （一般配管用）	ＪＷＷＡ　Ｋ　１３２ （水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管）
		ＳＧＰ－ＰＤ （地中配管用）	
	ビニル管		ＪＷＷＡ　Ｋ　１２９ （水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管）
	ビニル管継手		ＪＷＷＡ　Ｋ　１３０ （水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル 管継手）
	鋳鉄管		ＪＷＷＡ　Ｇ　１１３ （水道用ダクタイル鋳鉄管） ＪＷＷＡ　Ｇ　１１４ （水道用ダクタイル鋳鉄異形管）

認定品目

品　　目	機　　材　　名	適　用　範　囲	記　　　　事
保温材	ポリスチレンフォーム 保温材	保温板及び筒以外の 成形品	ＪＩＳマーク表示認可工場で製造されたもの
ポンプ	消火ポンプユニット		(財)日本消防設備安全センターの認定証票が貼付されたもの
ガス湯沸器	貯湯湯沸器		(財)日本ガス機器調査協会の合格証票が貼付されたもの
	瞬間湯沸器		
排煙機	排煙機		(財)日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの
ガス漏れ 警報装置類	ガス漏れ警報器		(財)日本ガス機器調査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの
	ガス漏れ警報装置	中継器及び受信機	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
	ガス遮断装置		(財)日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会及び(財)日本エルピーガス機器検査協会の検査合格証票が貼付されたもの
ダクト 付属品	防火ダンパー		日本防排煙工業会の適合証票が貼付されたもの
	防火防煙ダンパー		
阻集機	グリース阻集器	工場製作品 （１０００ﾘｯﾄﾙ以下）	日本阻集器工業会グリース阻集器認定委員会の認定証票が貼付されたもの

評価名簿

品　　　目	記　　　　事
弁及び継手、ボイラー、温水発生機、冷凍機、冷却塔、 空気調和機、空気清浄装置、全熱交換器、送風機類、ポンプ類、 ダクト付属品、自動制御、衛生器具ユニット、タンク、消火装置、 厨房機器、鋳鉄製ふた　　等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿　（最新年版）」による

N
敷地境界線
前面道路
前面道路
敷地境界線
前面道路
敷地境界線
敷地境界線
陶芸用作業室
駐車場
5台
道路
生涯学習センター
駐車場
2台
25ｔレッカー
鉄板養生
（インターロッキング）
冷却塔入替用
駐車場
2台
設備ヤード
改修建物
役場庁舎
アスファルト
冷温水発生機入替用
50ｔレッカー
(アウトリガー部分、床養生のこと）
敷地境界線
敷地境界線
車庫・倉庫
敷地境界線
道路
敷地境界線
道路
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
機械設備工事
配置図
縮尺
A1:1/300
A3:1/600
図番
M－6

倉庫
事務室
会計
廊下
上下水道課
調整室
物入
副町長室
前室
サーバー室
農事研修室
風除室
客溜り
町民サロン
待合コーナー
エントランスホール
事務室
環境安全
住民
書庫
湯沸
機械室
物入
通路
サーバー室
女ロッカー
男ロッカー
風除室
踏み込
4.5帖
客室8帖
男 WC
女 WC
身障者 WC
PS
UP
改修工事
全熱交換機の撤去
同上用ダクトの撤去
全熱交換器ユニットの据付
同上用ダクトの接続
（詳細図参照）
＊天井解体・復旧は建築工事
＊照明器具等の取外・再取付は電気図参照
5,700
5,700
5,700
5,700
5,700
5,700
5,700
6,200
8,800
2,500
8,000
5,250
5,250
5,250
5,700
5,700
5,700
3,700
JOB NO. 112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題 機械設備工事 1階 平面図
縮尺 A1:1/100 A3:1/200
図番 M－7

既設省エネコントローラー
(中央監視装置)
新設吸収式冷温水発生機
再接続にて使用
移動椅子収納スペース
ホワイエ
大集会室
町長室
会議室
総務
情報推進
事務室
吹抜
カウンター
機械室
応接室
事務室
農林水産
事務室
物入
湯沸
WC
男
WC
女
WC
PS
DS
舞台
控室
楽屋
渡廊下
改修工事
全熱交換機の撤去
同上用ダクトの撤去
全熱交換器ユニットの据付
同上用ダクトの接続
(詳細図参照)
＊天井解体・復旧は建築工事
＊照明器具等の取外・再取付は電気図参照
5,700
5,700
5,700
5,700
5,700
5,700
5,700
6,200
3,300
3,500
9,000
3,500
2,000
5,250
5,250
5,250
5,700
5,700
5,700
3,700
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
機械設備工事
2階 平面図
縮尺
図番
M－8

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 機械設備工事 3階 平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 M－9

改修工事
吸収式冷温水発生機(吸収液処理共)の更新
上記に伴う、配管の撤去・再接続
オイルサービスタンクの外面塗装
（詳細図参照）
搬出入用養生
架台
太陽光パネル
屋根
屋上
屋上
屋根
スロープ
機械室
物置
作業用ステージ（シャッターと700Hの段差あり）
機械室内、搬入口と段差あり
発電機室
電気室
PS
＊作業エリアは必要により、防水の養生を行うこと。（防水：シート防水）
5,700
5,700
7
8
9
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
機械設備工事
PHF階 平面図
縮尺
A1:1/100
A3:1/200
図番
M－10

屋 根
屋 上
屋 上
屋 根
改修工事
冷却塔の更新
上記に伴う、配管の更新
（詳細図参照）
D
B
A
7,100
4,300
5,700
5,700
7
8
9
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
・ ・
標題
機械設備工事
PHRF階 平面図
縮尺
A1:1/100
A3:1/200
図番
M－11

既設機器表

記号	名称	仕様	台数	設置箇所	備考
RA	吸収式冷温水発生機	冷房能力 544,000Kcal/h(7℃) 暖房能力 471,000Kcal/h(60℃)	1	PHFL機械室	撤去
	油焚・二重効用	燃料消費量 59.7L/h(A重油) 電気容量 3φ200v 11KVA			
	(メーカー仕様)	冷水・温水量 109m3/h 冷却水量 180m3/h 分割搬入型			
		本体総重量8.4ｔ(搬入時) ＊撤去時には吸収液の処理を行うこと			
CT	冷却塔	冷却能力 990,000Kcal/h 冷却水量 180m3/h	1	PHRFL屋上	撤去
	低騒音型	送風機 1,796m3/min 電気容量 3φ200v 7.5Kw			
	(メーカー仕様)	本体総重量1,280kg(搬入時)			
P-1	冷温水1次ポンプ	1,850L/min×16m×3φ200v×11Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
P-2	冷温水2次ポンプ	1,100L/min×36m×3φ200v×15Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
P-3	冷温水2次ポンプ	760L/min×28m×3φ200v×7.5Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
P-4	冷却水ポンプ	3,000L/min×16m×3φ200v×11Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
OST	オイルサービスタンク	200L 500×600×800H 3.2t アングル架台 H=1,300	1	PHRFL屋上	改修
		マンホール・オイルゲージ共 外面サビ止 OP仕上			
EXT	膨張タンク	耐蝕・耐熱型 200L 600×600×670H	1	PHFL機械室	再使用
	(メーカー仕様)	マンホール、ボールタップ25A、架台 H=1,500			
HW	冷温水ヘッダー	200φ×1,800L フランジ：JIS10K 保温Rw50t アルミラッキング	1	PHFL機械室	再使用
HWR	冷温水ヘッダー	200φ×1,800L フランジ：JIS10K 保温Rw50t アルミラッキング	1	PHFL機械室	再使用
H	ドレンヘッダー	100φ×900L フランジ：JIS5K ブラケット架台 OP仕上	1	PHFL機械室	再使用
HE-1	全熱交換機	処理風量2,400m3/h× (排)35mAq(全圧) (給)25mAq(全圧) ×3φ200V×0.75Kw	1	1F宿直室	撤去
	(メーカー仕様)	ユニット型 送風機(2台) 効率80% ローター：アルミ			
		パネルフィルター、スクロールダンパー、防振架台共			
		本体：3分割 総重量880kg(搬入時)、架台：重量179kg			
HE-2	全熱交換機	処理風量1,900m3/h× (排)47mAq(全圧) (給)36mAq(全圧) ×3φ200V×0.75Kw	1	2F事務室	撤去
	(メーカー仕様)	ユニット型 送風機(2台) 効率80% ローター：アルミ			
		パネルフィルター、スクロールダンパー、防振架台共			
		本体：3分割 総重量700kg(搬入時)、架台：重量171kg			

改修機器表

記号	名称	仕様	台数	設置箇所	備考
RA	吸収式冷温水発生機	冷房能力 633Kw<180USRT>(7℃) 暖房能力 548Kw(60℃)	1	PHFL機械室	取替
	油焚・二重効用	燃料消費量 57.2Ｌ/h(A重油) 電源容量 3φ200v 14.3KVA	参考品番：TOA-GNL018HP		
	(メーカー仕様)	冷水・温水量 1,810L/min 冷却水量 3,000L/min			
		2分割搬入 感震器 機器保温工事			
CT	冷却塔	冷却能力 1,109Kw 冷却水量 3,000L/min	1	PHRFL屋上	取替
	開放式・低騒音型	(冷却水温度：37.3℃-32℃ 空気温度：27℃WB) 耐震1.5G	参考品番：SKB-180GR		
	(メーカー仕様)	電気容量 3φ200v 7.5Kw 送風機2,000φ 内部配管、防振架台			
		ボールタップ、 鋼製架台 (詳細図参照)			
P-1	冷温水1次ポンプ	1,850L/min×16m×3φ200v×11Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
P-2	冷温水2次ポンプ	1,100L/min×36m×3φ200v×15Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
P-3	冷温水2次ポンプ	760L/min×28m×3φ200v×7.5Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
P-4	冷却水ポンプ	3,000L/min×16m×3φ200v×11Kw 渦巻ポンプ スプリング防振架台	1	PHFL機械室	再使用
OST	オイルサービスタンク	200L 500×600×800H 3.2t アングル架台 H=1,300	1	PHRFL屋上	改修
		マンホール・オイルゲージ共 外面サビ止 OP仕上			
		＊改修内容：外面再塗装			
EXT	膨張タンク	耐蝕・耐熱型 200L 600×600×670H	1	PHFL機械室	再使用
	(メーカー仕様)	マンホール、ボールタップ25A、架台 H=1,500			
HW	冷温水ヘッダー	200φ×1,800L フランジ：JIS10K 保温Rw50t アルミラッキング	1	PHFL機械室	再使用
HWR	冷温水ヘッダー	200φ×1,800L フランジ：JIS10K 保温Rw50t アルミラッキング	1	PHFL機械室	再使用
H	ドレンヘッダー	100φ×900L フランジ：JIS5K ブラケット架台 OP仕上	1	PHFL機械室	再使用
HEA-1	全熱交換器ユニット	処理風量2,000CMH×140Pa×1φ200V×1,205w	1	1F宿直室	新設
	(メーカー仕様)	空気対空気透過式全熱交換方式、防振吊金具,ｴｱﾊﾝ連動運転	参考品番：LGH-200RS5D		
		ﾁｬﾝﾊﾞｰﾎﾞｯｸｽ＜350φ変換部品＞ ×2			
HEA-2	全熱交換器ユニット	処理風量1,900CMH×190Pa×1φ200V×1,205w	1	2F事務室	新設
	(メーカー仕様)	空気対空気透過式全熱交換方式、防振吊金具,ｴｱﾊﾝ連動運転	参考品番：LGH-200RS5D		
		ﾁｬﾝﾊﾞｰﾎﾞｯｸｽ＜350φ変換部品＞ ×1			

CT
撤去
高架水槽より
＊×3
再使用
EXT
自動ｴｱｰ抜弁 X6
ﾄﾞﾚﾝﾍｯﾀﾞｰへ
PHRFL
50,50,150,150,150,125,100
RD へ
＊×4
以降自動ｴｱｰ抜弁へ
15A×6
OST
改修
再使用
P-3
再使用
P-4
PHFL
RA
撤去
H
再使用
HWR
再使用
HW
再使用
P-1
再使用
P-2
再使用
CWR2
CW2
3FL
機械室
OA
EA
HE-2（天吊）
撤去
既設エアハン
（再使用）
WC
事務室
2FL
機械室
HE-1（天吊）
撤去
天井扇
取外
宿直8帖
通路
車庫棟
オイルポンプ
（再使用）
地下油タンク
（再使用）
1FL
ピット
＊は、配管・ダクト切断を示す。
・太線のﾀﾞｸﾄは撤去を示す。
・既設配管・ダクトの系統に関しては、既設竣工図を確認のこと。
JOB NO. 112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎全面改修工事（第1期・機械設備）
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
機械設備工事
配管・ダクト系統図（改修前）
縮尺
図番
M－13

配管材

名　称	仕　様	規　格
冷温水管	配管用炭素鋼々管	ＪＩＳ　Ｋ　３４５２　ＳＧＰ（白）
冷却水管	配管用炭素鋼々管	ＪＩＳ　Ｋ　３４５２　ＳＧＰ（白）
補給水管	水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ 紛体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	ＪＷＷＡ　Ｋ　１３２　ＳＧＰ　ＰＢ
排水管	配管用炭素鋼々管	ＪＩＳ　Ｋ　３４５２　ＳＧＰ（白）
油管	配管用炭素鋼々管	ＪＩＳ　Ｋ　３４５２　ＳＧＰ（黒）

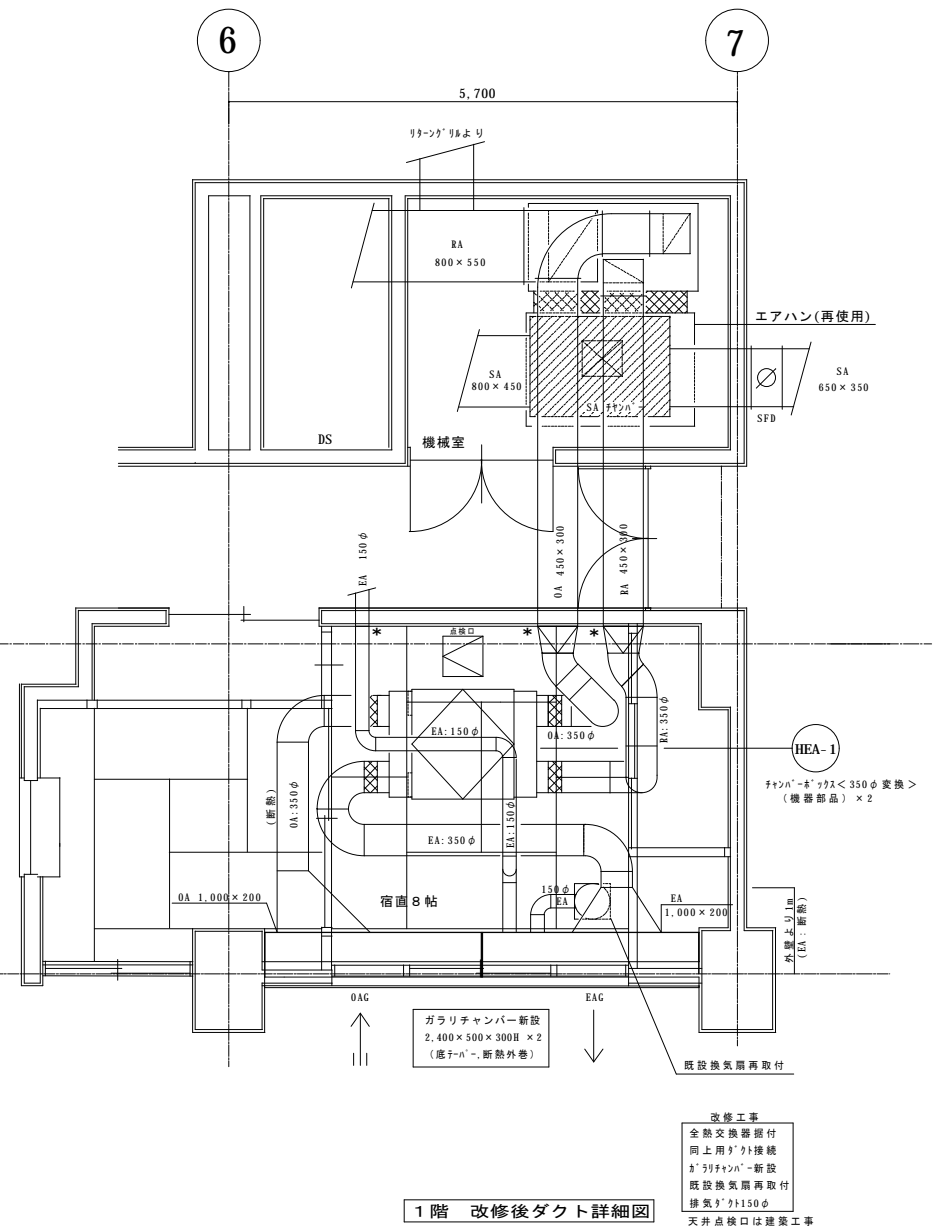
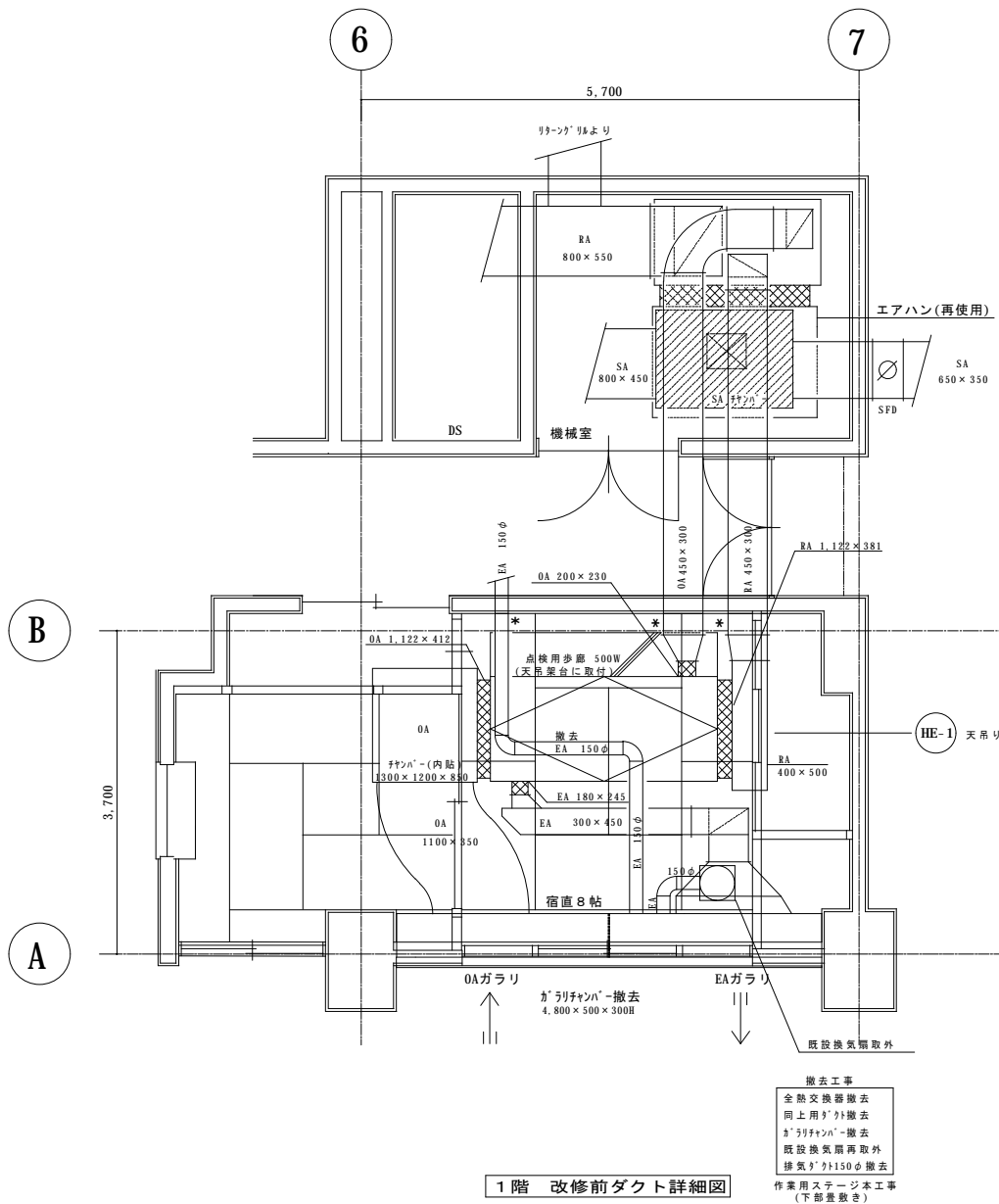
＊機械室・屋外露出の SGP(白)管及び油配管は、塗装を施すこと。（既設色にあわす）
＊機械室露出配管の 保温外装はｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕上げとする。（既設は綿布仕上）
＊屋外露出配管の保温外装は、SUSﾗｯｷﾝｸﾞ仕上げとする。

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎全面改修工事(第１期・機械設備)	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 機械設備工事 配管・ダクト系統図(改修後)	縮尺 -	図番 Ｍ－１４

7
8
9
8
9
5,700
5,700
550
7,100
600
3,700
D
B
A
更新
RA
チューブ引抜スペース
350φ
煙管清掃スペース
350φ
480×370
煙導：2.3t 新設
カラー鉄板巻
電動シャッター
＊接続
EXPJ
煙導 350φ
350φ
HW
HWR
再使用
再使用
機械室
再使用
再使用
再使用
再使用
P-2
P-3
P-1
P-4
OST
改修（外面塗装）
煤煙濃度計
再使用
煙突
物置
PS
H
再使用
再使用
EXT
発電機室
電気室
PS
300
既設
基礎
(300H)
基礎：増打
(300H)
1,400
150
800
基礎：増打
(300H)
既設
基礎
(300H)
既設
基礎
(300H)
1,450
260
500
機械室
（増打）機械基礎(参考)
＊は、煙導接続位置を示す。
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
機械設備工事
PHFL階 機械室詳細図１(改修後)
縮尺
A1:1/30
A3:1/60
図番
M－16

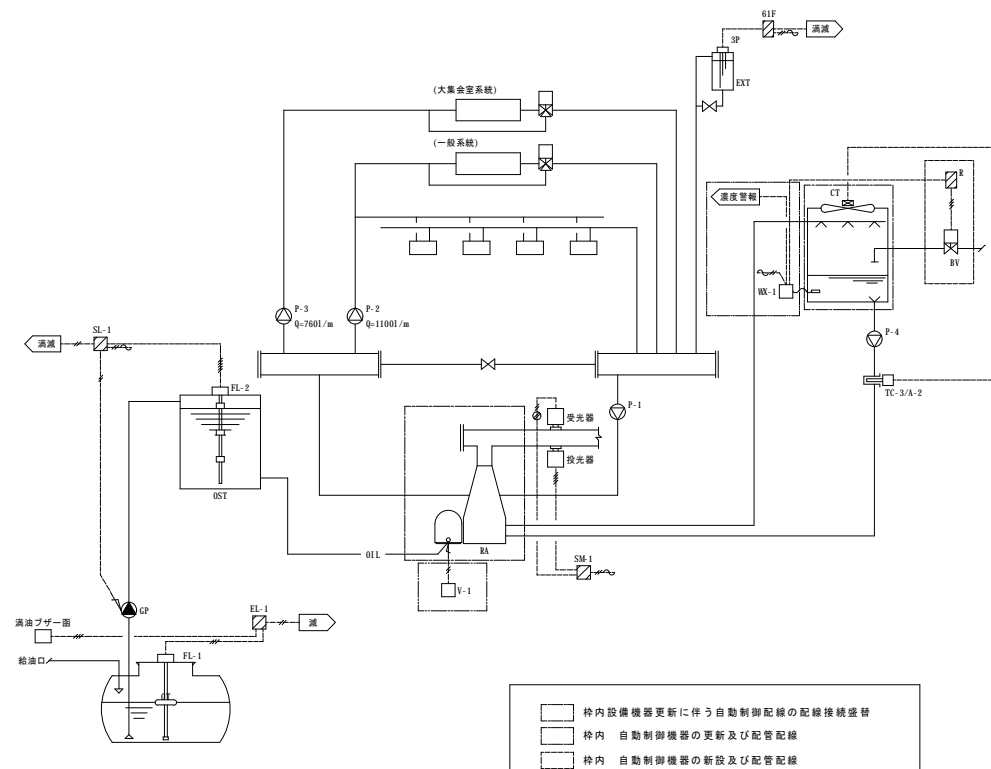
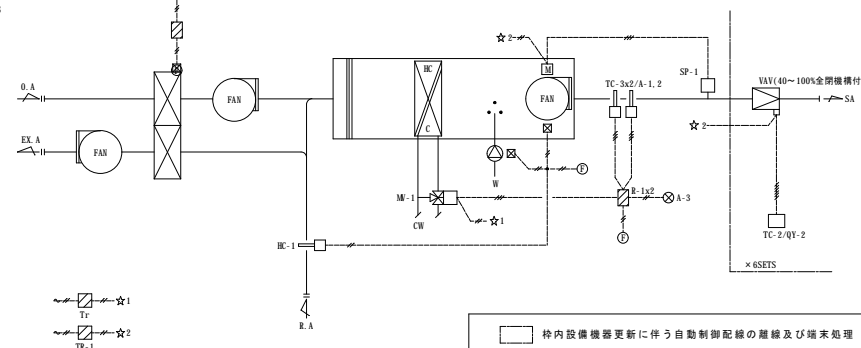
JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	標題 機械設備工事 PHFL階 機械室詳細図2(改修前)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 M－17

CT 冷却塔廻り	
冷却水	BTV150×2、FJ150(合成ｺﾞﾑ製)×2
	Yｽﾄ150×1、GV(5K)50×1
補給水	GV(5K)32×2、FJ32(合成ｺﾞﾑ製)×2
	GV(5K)50×2、横水栓13×1
排水	排水ﾎｯﾊﾟｰ×2

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 機械設備工事 PHRF階 冷却塔廻り詳細図(改修後)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 M－20

＊は、ダクト取外し位置を示す。
太線のﾀﾞｸﾄは撤去を示す。

＊は、ダクト接続位置を示す。
太線のﾀﾞｸﾄは新設を示す。

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	標題 機械設備工事 1階 ダクト詳細図(改修前・改修後)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 M－21

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 機械設備工事 2階 ダクト詳細図(改修前・改修後)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 M－22

＜改修前＞

自動制御機器表

	記号	名　　称	型　　番	備　　考
	TC-2	室内型温度調節器	T9065B	
	TC-3	室内型温度調節器	T991A	
	TY-1	挿入型温度検出器	TY751B	
	HC-1	挿入型湿度調節器	H69A	
	A-1	支持金具	A341-J	
	A-2	保護管	112624AA-J	
	A-3	切換スイッチ	APN2103	
	QY-2	サーモプレート		全閉スイッチ付
	SP-1	静圧調節器	P246A	
機器更新	~~WX-1~~	~~ミズコン調節器~~	~~R7010B~~	~~防水ケース付~~
機器更新	~~V-1~~	~~感震器~~	~~V725~~	
	MV-1	モジュトロールモータ	M904E	
		弁リンケージ	Q455C	
		三方弁	V5065A	
	SL-1	セーフティフロートスイッチ		FL-2付
	EL-1	油面指示計		FL-1付、満油ブザー面付
	SM-1	排煙濃度計		投・受光器付
	FL-3	フロートスイッチ		
	61F	フロートレススイッチ		3P電極付

＜改修後＞

自動制御機器表

	記号	名　　称	型　　番	備　　考
	TC-2	室内型温度調節器	T9065B	
	TC-3	室内型温度調節器	T991A	
	TY-1	挿入型温度検出器	TY751B	
	HC-1	挿入型湿度調節器	H69A	
	A-1	支持金具	A341-J	
	A-2	保護管	112624AA-J	
	A-3	切換スイッチ	APN2103	
	QY-2	サーモプレート		全閉スイッチ付
	SP-1	静圧調節器	P246A	
	WX-1	ミズコン調節器	R7010W	専用防水ケース付
	V-1	感震器	V725	
	MV-1	モジュトロールモータ	M904E	
		弁リンケージ	Q455C	
		三方弁	V5065A	
	SL-1	セーフティフロートスイッチ		FL-2付
	EL-1	油面指示計		FL-1付、満油ブザー面付
	SM-1	排煙濃度計		投・受光器付
	FL-3	フロートスイッチ		
	61F	フロートレススイッチ		3P電極付
機器新設	BV	電動ﾎﾞｰﾙ弁	VY6300	ON-OFF　32A

＜改修前＞

中央管理点入出力一覧表

	記　号	名　　称	動　力　盤	操　　作			表　　示			計　　測			備　　考
				設定	切換	発停	状態	故障	警報	温度	湿度	アナログ	
	RA	吸収式冷温水発生機	M-1			○	○		○				
	CT	冷却塔	M-1				○	○					
	P-1	１次冷温水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1				○	○					
	P-2	２次冷温水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1			○	○	○					
	P-3	２次冷温水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1			○	○	○					
	P-4	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1				○	○					
	GP	ｵｲﾙｷﾞﾔﾎﾟﾝﾌﾟ	M-2				○	○					
	AH-1	空調機	M-4			○	○	○					
	AH-2	空調機	M-5			○	○	○					
	AH-3	空調機	M-3			○	○	○					
	AH-4	空調機	M-6			○	○	○					
削除	HE-1	熱交換器	M-3				○	○					
削除	HE-2	熱交換器	M-4				○	○					
	CF-1	給気ﾌｧﾝ	M-7			○	○	○					
	CF-2	排気ﾌｧﾝ	M-7			○	○	○					
	OT-1	オイルタンク							○				
	OST-1	オイルサービスタンク							○				
	EXT	膨張ﾀﾝｸ	M-1						○				
		給水受水槽	M-2						○				
		高架水槽	M-2						○				
		消火栓水槽	MF-1						○				
		浄化槽	M-8						○				
	PH-1	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-2				○	○					
	PH-2	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ	MF-1				○						
		冷却水濃度異常						○					
	GP-1	釜場警報						○					
		火災警報						○					
	OAU-8	外気温度								○			
	OAU-9	送水温度								○			
		還水温度								○			
		議場								○			
		大集会室								○			
		1階　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ								○			
		1階　窓口(住民)								○			
		2階　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ								○			
		火災停止信号	M-7			○	○						

＜改修後＞

中央管理点入出力一覧表

記　号	名　　称	動　力　盤	操　　作			表　　示			計　　測			備　　考
			設定	切換	発停	状態	故障	警報	温度	湿度	アナログ	
RA	吸収式冷温水発生機	M-1			○	○		○				
CT	冷却塔	M-1				○	○					
P-1	１次冷温水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1				○	○					
P-2	２次冷温水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1			○	○	○					
P-3	２次冷温水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1			○	○	○					
P-4	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-1				○	○					
GP	ｵｲﾙｷﾞﾔﾎﾟﾝﾌﾟ	M-2				○	○					
AH-1	空調機	M-4			○	○	○					
AH-2	空調機	M-5			○	○	○					
AH-3	空調機	M-3			○	○	○					
AH-4	空調機	M-6			○	○	○					
CF-1	給気ﾌｧﾝ	M-7			○	○	○					
CF-2	排気ﾌｧﾝ	M-7			○	○	○					
OT-1	オイルタンク							○				
OST-1	オイルサービスタンク							○				
EXT	膨張ﾀﾝｸ	M-1						○				
	給水受水槽	M-2						○				
	高架水槽	M-2						○				
	消火栓水槽	MF-1						○				
	浄化槽	M-8						○				
PH-1	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	M-2				○	○					
PH-2	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ	MF-1				○						
	冷却水濃度異常						○					
GP-1	釜場警報						○					
	火災警報						○					
OAU-8	外気温度								○			
OAU-9	送水温度								○			
	還水温度								○			
	議場								○			
	大集会室								○			
	1階　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ								○			
	1階　窓口(住民)								○			
	2階　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ								○			
	火災停止信号	M-7			○	○						

7
8
9
5,700
5,700
D
B
A
550
7,100
600
3,700
機械室
撤去
RA
イ
M-1動力盤
V-1感震器　撤去更新
SM-1排煙濃度計
既設のまゝ
SL-1サービスタンク液面計
既設のまゝ
EL-1油面計オイルタンク
既設のまゝ
TY-1
既設のまゝ
TY-1
既設のまゝ
TC-3
既設のまゝ
電動シャッター
HW
再使用
HWR
再使用
再使用
P-2
再使用
P-3
再使用
P-1
再使用
P-4
FL-2油面計 既設のまゝ
OST
煤煙濃度計
既設のまゝ
煙突
物置
PS
H
再使用
(19)IV2x2E2　WX-1　水コン
(19)1V1.25x2　WX-1　水コン
再使用
EXT
FS
発電機室
電気室
PS
(25)IV2x2,CVV2x2FL-1
(25)CVV1.25x3　EL-1
(25)1V1.25x3x2　TY-1x2
イ
(19)　IV2x2　V-1　配管配線撤去更新
(19)　IV2x2　TC-3　配管配線撤去更新
(19)　IV1.25x3　TY-1　配管配線撤去更新
(19)　IV1.25x3　TY-1　既設のまゝ
(19)　IV2x2E2　WX-1　既設のまゝ
(19)　IV1.25x2　WX-1　既設のまゝ
(25)　IV2x6　SL-1　既設のまゝ
(25)　IV2x2,CVV2x2 FL-1　既設のまゝ
(25)　CVV1.25x3　EL-1　既設のまゝ
(25)　IV1.25x6　TY-1x2　既設のまゝ
V2　EM-CEE1.25□x2C　(19)　(G15)　(PF16)
V3　EM-CEE1.25□x3C　(19)　(G15)　(PF16)
V5　EM-CEE1.25□x5C　(25)　(G22)　(PF22)
V6　EM-CEE1.25□x6C　(25)　(G22)　(PF22)
V10　EM-CEE1.25□x10C　(31)　(G28)　(PF28)
P5　EM-CPEE 0.9x5P　(25)　(G22)　(PF22)
CE2x4　EM-CE2□x4C　(25)　(G22)　(PF22)
FL-2　油面計 オイルサービスタンク用　(24#) V5
3P～5P　電極　棒,セパ共　エントラC,orPB V3～V5
TY-1　挿入型サーモ 計側用　(17#) V3
TC-3　挿入型サーモ 制御用　V2
V-1　感震器　スパイラル V3
WX-1　水コン盤 防水型　(17#wpx2) CE2x3,V2
露出配管配線　内部 E管 外部 G管
隠ぺい配管配線　天井内ケーブルコロガシ 壁内 PF管
既設撤去工事
PB1　プールボックス 150□x100
PB2　プールボックス 200□x150
wpは屋外防水型
SUS製
既設配線
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士　第276761号　浦　淳
設計
標題
機械設備工事
PHFL階 機械室　自動制御設備(改修前)
縮尺
A1:1/30
A3:1/60
図番
M－25

イ

(19)	IV2x2	V-1	配管配線更新
(25)	5P	RA	配管配線新設
(31)	V10	RA	配管配線新設
(19)	IV2x2	TC-3	配管配線更新
(19)	IV1.25x3	TY-1	配管配線更新
(19)	IV1.25x3	TY-1	既設
(19)	IV2x2E2	WX-1	既設
(19)	IV1.25x2	WX-1	既設
(25)	IV2x6	SL-1	既設
(25)	IV2x2,CVV2x2	FL-1	既設
(25)	CVV1.25x3	EL-1	既設
(25)	IV1.25x6	TY-1x2	既設

V2	EM-CEE1.25□x2C	(19)	(G15)	(PF16)
V3	EM-CEE1.25□x3C	(19)	(G15)	(PF16)
V5	EM-CEE1.25□x5C	(25)	(G22)	(PF22)
V6	EM-CEE1.25□x6C	(25)	(G22)	(PF22)
V10	EM-CEE1.25□x10C	(31)	(G28)	(PF28)
P5	EM-CPEE 0.9x5P	(25)	(G22)	(PF22)
CE2x4	EM-CE2□x4C	(25)	(G22)	(PF22)

FL-2	油面計 ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ用	(24#) V5
3P～5P	電極　棒,ｾﾊﾟ共	ｴﾝﾄﾗC,orPB V3～V5
TY-1	挿入型ｻｰﾓ 計側用	(17#) V3
TC-3	挿入型ｻｰﾓ 制御用	V2
V-1	感震器	ｽﾊﾟｲﾗﾙ V3
WX-1	水ｺﾝ盤 防水型	(17#wpx2) CE2x3,V2

	露出配管配線	内部 E管 外部 G管
	隠ぺい配管配線	天井内ｹｰﾌﾞﾙｺﾛｶﾞｼ 壁内 PF管
PB1	ﾌﾟｰﾙﾎﾞｯｸｽ 150□x100	wpは屋外防水型 SUS製
PB2	ﾌﾟｰﾙﾎﾞｯｸｽ 200□x150	

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 機械設備工事 PHFL階 機械室 自動制御設備(改修後)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 M－26

7
8
9
5,700
5,700
D
A
11,400
WX-1水コン
撤去更新
撤去
CT
高架水槽
ハト小屋
(16)IV2x2E2 撤去更新
(16)IV1.25x2 撤去更新
(19)IV2x2E2 WX-1 水ｺﾝ 既設のまゝ
(19)1V1.25x2 WX-1 水ｺﾝ 既設のまゝ
V2 EM-CEE1.25□x2C (19) (G15) (PF16)
V3 EM-CEE1.25□x3C (19) (G15) (PF16)
V5 EM-CEE1.25□x5C (25) (G22) (PF22)
V6 EM-CEE1.25□x6C (25) (G22) (PF22)
V10 EM-CEE1.25□x10C (31) (G28) (PF28)
P5 EM-CPEE 0.9x5P (25) (G22) (PF22)
CE2x4 EM-CE2□x4C (25) (G22) (PF22)
FL-2 油面計 ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ用 (24#) V5
3P～5P 電極 棒,ｾﾊﾟ共 ｴﾝﾄﾗC,orPB V3～V5
TY-1 挿入型ｻｰﾓ 計側用 (17#) V3
TC-3 挿入型ｻｰﾓ 制御用 V2
V-1 感震器 ｽﾊﾟｲﾗﾙ V3
WX-1 水ｺﾝ盤 防水型 (17#wpx2) CE2x3,V2
露出配管配線 内部 E管 外部 G管
隠ぺい配管配線 天井内ｹｰﾌﾞﾙｺﾛｶﾞｼ 壁内 PF管
既設撤去工事
PB1 ﾌﾟｰﾙﾎﾞｯｸｽ 150□x100
PB2 ﾌﾟｰﾙﾎﾞｯｸｽ 200□x150
wpは屋外防水型
SUS製
既設配線
JOB NO. 112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計 ・ ・
標題 機械設備工事
PHRFL階 屋上 自動制御設備(改修前)
縮尺 A1:1/30
A3:1/60
図番 M －２７

7
8
9
5,700
5,700
D
A
11,400
WX-1水コン
撤去更新
更新
CT
BV(V3)
高架水槽
(16)CE2x3 更新
(16)V2 更新
PB2wp 更新
(19)IV2x2E2 WX-1 水ｺﾝ既設のまゝ
(19)1V1.25x2 WX-1 水ｺﾝ既設のまゝ
ハト小屋
V2 EM-CEE1.25□x2C (19) (G15) (PF16)
V3 EM-CEE1.25□x3C (19) (G15) (PF16)
V5 EM-CEE1.25□x5C (25) (G22) (PF22)
V6 EM-CEE1.25□x6C (25) (G22) (PF22)
V10 EM-CEE1.25□x10C (31) (G28) (PF28)
P5 EM-CPEE 0.9x5P (25) (G22) (PF22)
CE2x4 EM-CE2□x4C (25) (G22) (PF22)
FL-2 油面計 ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ用 (24#) V5
3P～5P 電極 棒,ｾﾊﾟ共 ｴﾝﾄﾗC,orPB V3～V5
TY-1 挿入型ｻｰﾓ 計側用 (17#) V3
TC-3 挿入型ｻｰﾓ 制御用 V2
V-1 感震器 ｽﾊﾟｲﾗﾙ V3
WX-1 水ｺﾝ盤 防水型 (17#wpx2) CE2x3,V2
BV 電動ﾎﾞｰﾙ弁 丸BOX V3
露出配管配線 内部 E管 外部 G管
隠ぺい配管配線 天井内ｹｰﾌﾞﾙｺﾛｶﾞｼ 壁内 PF管
PB1 ﾌﾟｰﾙﾎﾞｯｸｽ 150□x100
PB2 ﾌﾟｰﾙﾎﾞｯｸｽ 200□x150
wpは屋外防水型
SUS製
JOB NO. 112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社 浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計 ・ ・
標題 機械設備工事
PHRFL階 屋上 自動制御設備(改修後)
縮尺 -
図番 M －２８

JOB NO.										
112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦設備研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計	・ ・	標題	電気設備 1階平面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200	図番 E－01

開閉器盤（露出、壁掛型）
1Φ2W
200V
ELB
2P50A/20A
52
全熱交換器
1250W
43
T
OFF
A
X
G
R
52
51X
屋根
バルコニー
移動椅子収納スペース
大集会室
舞台
控室
楽屋
VTR
DS
UP
DN
入
渡廊下
町長室
会議室
総務課
事務室
情報推進課
コピー室
吹抜
(既設分電盤)
L-2A
MCB2P20A 200V1回路増設
防火区画
VVF2.0-2C,E1.6
機械室
VVF2.0-2C,E1.6(E19)
開閉器盤
PS
製図室
全熱交換器
化粧
男 WC
女 WC
物入
湯沸
WC
応接室
財政課
（健全財政推進室）
産業振興課
（ふるさと振興課）
庇
【取外再取付】
照明器具FL40W×2 埋込 2連結～2組
差動式スポット型感知器～1個
天井埋込形スピーカー～1台
非常照明 ダウンライト～1台
4,000
1,700
1,450
4,250
5,700
6,200
3,300
3,500
9,000
2,000
46,100
19,300
65,400
14,500
17,100
6,500
2,000
2,500
6,100
600
1,500
1,800
5,250
5,700
32,850
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦設備研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
電気設備 2階平面図
縮尺
A1：1/100
A3：1/200
図番
E－02

JOB NO. 112017	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦設備研究所 一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 電気設備 R階・屋上階平面図	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図番 E − 03

特　記　仕　様　書　（建築）

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　宝達志水町子浦地内

2．敷地面積　　図示による

3．工事内容　　1.ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ壁ﾀｲﾙ調査及び補修
　　　　　　　2.1階宿直室ﾌｰﾄﾞ改修及び天井補修
　　　　　　　3.2階事務室天井補修

4．完成期日　　平成24年　月　日

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「営繕部監修」という。）　建築工事共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）（最新版）による。

2．特記仕様
（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と㊟印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、該当図又は当該表を示す。
（4）図面等の優先順位は、①現場説明書（質疑応答書含む）・②特記仕様書・③設計図書④共通仕様書とする。

①　一般共通事項

① 適用基準等
⊙建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・敷地調査共通仕様書　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・鉄骨設計標準図　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・建築鉄骨設計標準　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙工事写真の撮り方(改訂第２版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

2 電気保安技術者
・適用する　・適用しない　（1．3．3）

③ 技能士
※適用する
適用工事種別　（1．5．2）
鉄筋工事（・鉄筋施工）　コンクリート工事（・左官　・型枠施工）
鉄骨工事（・とび）　ブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事
（・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工　・押出成形セメント板施工）
防水工事（・防水施工）　石工事（・石材施工）
タイル工事（・タイル貼り）　木工事（・建築大工）
屋根及びとい工事（・建築板金　・スレート施工）
金属工事（・内装仕上げ施工（鋼製下地））　左官工事（・左官）
建具工事（・サッシ施工　・ガラス施工）　塗装工事（・塗装）
内装工事（・内装仕上げ施工（・プラスチック系床仕上げ工事作業
　・ボード仕上げ工事作業　・表装）
植栽工事（・造園）
カーテンウォール工事（　・カーテンウォール施工（PC）
　・サッシ施工　・ガラス施工）

④ 建築材料等
建築材料で製造所名、製品名、施工業者名が特記されたもの又はこれらと同等以上のものとする。ただし、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑤ 特別な材料の工法
建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

6 発生材の処置
・引渡しを要するもの
・指定副産物の搬出
　・アスファルトコンクリート塊　・セメントコンクリート塊　・建設発生木材
　受入れ施設名　（1．1．13）
　受入れ場所
　仮置場所
　搬出調書等を提出する。
・指定副産物以外の搬出
　※構外搬出適切処理

⑦ 騒音振動の防止
「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する。

⑧ 工事写真等の記録
次のものを原板とも監督職員に提出する。撮影箇所・部数は監督職員との協議による。

区分	分類	規格	撮影枚数	部数	備考
着工前	※カラー	※サービス判 ・キャビネ判 ・全紙パネル	※　2景以上	※１部	スクラップブック Ａ４版
工事中	※カラー	※サービス判 ・キャビネ判 ・全紙パネル	工事記録写真 撮影要綱による	※１部	スクラップブック Ａ４版
完成時	※カラー	・サービス判 ※キャビネ判 ・全紙パネル	※　6景以上	※２部	アルバム１部及び スクラップブック Ａ４版１部
		※４つ切 あるみ額縁	※　景以上	※２部	

⑨ 官公庁手続き
工事に必要な諸届、諸手続は請負者が速やかに処理し、この経費は請負者の負担とする。

⑩ 竣工図
Ａ3版縮小２つ折り製本２部提出　（図面訂正　JWCに依るＦＤ訂正し提出）

⑪ 設備工事との取合
施工範囲
※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の型枠及びそれらの補強
※図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強
※駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・
施工図
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 別契約の設備工事との取合い
設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は、本工事に含むものとする。なお箇所数等は、下記による。

位置／大きさ		100mm	125mm	150mm	175mm	200mm	
補強筋箇所数	梁						図示による
	壁						図示による
	床						図示による

鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。
軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。
なお箇所数等は、下記による。
　イ）天井部分　箇所　　ロ）壁部分　箇所

設備機器の位置、取合い及び施工区分は、下表により、事前に施工図を提出して、監督員の承認をうける。

他工事との取合い		建築	電気	機械	備考
機器の基礎、防油堤、換気扇取付用枠				○	
梁、床、壁、貫通部の補強		○			
梁、床、壁、貫通部のスリーブ、型枠			○	○	
外気取付ガラリ、床下水槽マンホール蓋		○			ガラリは、図示よる
ステンレス流し台等		○			排水トラップ共
換気フード				○	建築図に図示
天井、壁、床、点検、プロパンボンベ庫		○			
下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水				○	
小便器仕切板陶器製、タオル掛け下地共				○	
洗面所、手洗所等の鏡		○		○	特殊なものは、建築
オイラーの煙突		○		○	鋼板製は、機械設備
実験台に付属する設置機器		○			
実験台の配管等の接続			○	○	
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強		○			
埋込み分電盤、端子盤等の型枠			○		
天井、壁ボード類の下地補強		○			墨出し、ボード類切込みは設備
簡易間仕切り位置ボックス及び取付		○			
発電機、配電盤、制御盤、受水槽等の基礎			○	○	
屋上に設けるテレビアンテナ、及び設備基礎		○			
配線ピット及び蓋		○			
照明機器幹線等の吊りボールト用インサート			○		
身体障害者用の手摺		○			
自動扉、電動Ｓ、防火	１次側配管配線		○		
ＤＴ・Ｌ電動ﾙｰﾊﾞｰ等	２次側配管配線	○			

（注）　鉄骨部分のスリーブ・補強は建築工事

②　仮設工事

1 監督職員事務所
※設ける　・　（2．3．1）
監督職員事務所の種別　（表2．3．1）
・1号　・2号　・3号　・4号　・5号　・
監督職員事務所に設ける備品等　（2．3．1）
※保護帽　※安全帯　※長靴　※合羽　※原図大の設計図面製本２部
※机　※椅子　※懐中電灯　・書棚　・黒板　・寒暖計　・

② 工事用水
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

3 工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

4 指定仮設
仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受ける。
イ）材料　・鋼板　・亜鉛波形鉄板　・　ロ）高さ　・1.8ｍ　・3ｍ
ハ）塗装　・する　・しない　ニ）延長　・　ｍ　（2．3．4）

5 工事用道路
工事用道路は、良好なる維持管理を行い、使用後は請負者にて速やかに原形に復旧すること。

3　土工事

1 埋戻し及び盛土　種別　・A種　※B種　・C種　・D種　（3．2．3)(表3.2.1）

2 建設発生土の処理　※特記による　（3．2．5）
・構外搬出適切処理　・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し

3 砂利地業　※再生クラッシャラン　・切込み砂利及び切込み砕石　（4．6．3）

4 床下防湿層　施工箇所　※建物内の土間スラブ及びコンクリート下（ピット下を除く）5．6）

5　鉄筋工事

1 鉄筋の種類　（5．2．1)(表5.2.1）

種類の記号	呼び名（mm）
・ＳＤ２９５Ａ	D10、D13、D16
・ＳＤ３４５	D19、D22、D25、D29

2 鉄筋の継手
呼び名１９mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　（5．3．4）

3 鉄筋の最小かぶり厚さ
最小かぶり厚さは目地底から算定する。　（5．3．5）
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	「共仕」表５．３．５の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの打放し面	※１０　・

4 溶接金網
網目の形状、寸法 φ４×１５０×１５０　（5．2．2）
鉄線の径（mm）

6　コンクリート工事

① コンクリートの強度
普通コンクリート　（6．1．4）

F0（N／mm²）	適用範囲
※（２１）	躯体
⊙（１８）	上記以外

水密コンクリート　（6．1．4）

F0（N／mm²）	適用範囲
※（２１）	
・	

② レディーミクストコンクリートの類別
※Ｉ類　・Ⅱ類　（表6．1．1）

③ セメントの種類
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6．3．2)（6．16．2）
・高炉セメントのＢ種
・
上記普通ポルトランドセメントは、ＪＩＳ Ｒ ５２１０（ポルトランドセメント）に示された規定の他、次の規定に適合しなければならない。

水和熱（cal／g）	7日	84以下
	28日	96以下
全アルカリ（%）	0．75以下	
塩素（%）	0．02以下	

全アルカリの算出は、ＪＩＳ Ｒ 5210 ポルトランドセメント（低アルカリ形）による。

4 骨材
砕砂及び砕石（ＪＩＳ Ｒ 5005）の種類　※Ａ　・Ｂ　(6．3．3)
細骨材の塩分含有量（°／ｗｔ）　※０．０４以下

5 混和材料
※混和剤　(6．3．5)
※ＡＥ剤又はＡＥ減水剤

6 普通コンクリートの調合
所要空気量（°／ｖｌ）　(6．2．3)　(6．2．4)
※４．５％

⑦ 無筋コンクリート
粗骨材の最大寸法（mm）　(6．14．2)
（均しコンクリート及び防水押さえコンクリートの場合）
※２５
適用箇所　(6．14．1)　(6．14．3)
※6．14．1による。
・6．14．1の他は次による。

種類	スランプ（cm）	施工箇所
普通コンクリート	１５	均しコンクリート
軽量コンクリート		

⑧ 床コンクリートこて仕上げ

種類	施工箇所
※Ａ種	一般床
・Ｂ種	

9 打放し仕上げの種別
※合板せき板を用いる場合　(表6．2．3)

種類	塗装の有無	施工箇所
・Ａ種	・有　・無	
・Ｂ種	・有　・無	
⊙Ｃ種	・有　⊙無	

・合板せき板を用いない場合
せき板の種別

8　ブロック工事

1 補強コンクリートブロック造
ブロックの種類　※Ｃ種普通ブロック　（8．2．2）
鉄筋の種類　※異形鉄筋　・Ａ種（　）　※Ｂ種（※ＳＤ２９５Ａ・　）
表8．1．2以外のコンクリートの設計基準強度 F0(kgf／cm²)（N・㎡）（8．2．4）
※２１０（２１）
ライニング用ブロックの種別　※Ａ種

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
ブロックの種類　※表8．3．1による。　（8．3．2）
ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F0(kgf／cm²)（N・㎡）

⑨　防水工事

1 アスファルト防水
（9．2．2）（表9．2．1～表9．2．6）

施工箇所	種別	施工箇所	種別
浴室	Ｅ－１		

アスファルトの種類　※３種　・４種　（9．2．2）
アスファルトルーフィング　※１５００　・９４０　（9．2．2）
断熱材　（9．2．2）
材質　※ JIS A 9511（ポリスチレンフォーム保湿材）Ｂ類３種
厚さ（mm）※２５
上記ポリスチレンフォーム保湿材は特定フロンを含まないものとする。
絶縁用シート　・ポリエスチレンフィルム○０．１５　（9．2．2）
・アスファルトフェルト６５０
・フラットヤーンクロス（７０ｇ／㎡程度）
脱気装置　・設ける　材種　設置数量　（9．2．3）
・設けない
伸縮調整目地　※ 9．1．5（d）（2）（i）による。　（9．2．5）
・成形伸縮目地
製造所
施工標識　※設ける　・設けない　（9．3．2）（9．3．3）

2 合成高分子系ルーフィングシート防水

施工箇所	種別	長さ（mm）	保護塗装（露出の場合）
屋根	塩ビ樹脂系	※1.5	※カラー
		※	・シルバー

・絶縁用シート　※発泡ポリエチレンシート

3 塗膜防水
（9．4．3）（表9．4．1）（表9．4．2）

施工箇所	種別

脱気装置　・設ける　材種　設置数量　（9．4．3）
・設けない

④ シーリング用材料
下表以外は、「共仕」表９.６.１による。　（9．6．2）（表9.6.1）

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外壁・サッシ廻り	MS－2
打継・誘発目地	MS－2

接着性試験　（9．6．5）
※簡易接着性試験　・引張接着性試験（施工部位　）

5 接着性試験
※簡易接着性試験　（9．5．5）
・引張接着性試験（部位　）

6 塩ビ樹脂系シート防水

施工箇所	種別	長さ（mm）	
	塩ビ	・t1.5	

10　石工事

1 花こう岩類の石張り
（10．2．1）（表10．2．1）（表10．2．2）

施工箇所	品質	産地、名称	仕上げの種類
図示	※1等　・2等　・3等		本磨き
	※1等　・2等　・3等		

製造所

2 大理石張り
（10．2．1）（表10．2．2）

施工箇所	品質	産地、名称	仕上げの種類
図示	※1等　・2等　・3等		※本磨き
	※1等　・2等　・3等		※本磨き

製造所

⑪　タイル工事

① 陶磁器質タイル張り
タイルの種類　（11．2．1）

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ：磁器	きじ：せっ器	きじ：陶器	うわぐすり：施ゆう	うわぐすり：無ゆう	役物：あり	役物：なし	色：標準	色：特注	備考（同等品とする）
ｴﾝﾄﾗﾝｽ	二丁掛	・	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	・	既存ﾀｲﾙと同等品
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイルの製造所　ＩＮＡＸ，ＴＯＴＯ同等品
備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準曲がり　（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

2 壁タイル張りの工法
内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り 3．3）（表11．3．2）
外装タイル　・密着張り　・マスク張り　・改良圧着張り
下地モルタル塗り　※「共仕」15.2.3　モルタルまたはポリマーセメントモルタル
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・（11．2．1）
既調合モルタルの製造所「評価名簿」による　（11．2．3）
ポリマーセメントモルタルの製造所「評価名簿」による

3 コンクリート素地面の処理
※ＭＣＲ工法又は目荒らし工法　（11．3．3）（6．9．3）（15．2．4）
（ポリマーセメントモルタル下地）
施工範囲　※図示　・

12　木工事

1 県産材の使用
能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない。

2 木材の品質
木材の材質等は、下記による。　（12．2．1）
(1)現場搬入時の含水率　※Ａ種　・Ｂ種
(2)木材の品質
（イ）製材　※日本農林規格　・一般建築用材
（ロ）保存処理木材の適用箇所　※「共仕」12.5.1(b)による。
（ハ）構造材及び下地材の等級　※「共仕」12.2.1(b)(4)による。
（ニ）造作材の品質　※Ａ種　・Ｂ種
(3)樹種

	土台、水掛り枠類	見え掛り部分	見え隠れ部分	備考
構造材	・檜・能登ヒバ・草槙	・松・檜・杉	・松・檜・杉 ・能登ヒバ	
下地材	・檜・能登ヒバ・草槙	――――	・松⊙杉	
造作材	・檜・能登ヒバ⊙草槙	・松・檜⊙杉・能登ヒバ・ラワン無節	――――	・ラワン材 防虫処理
板材	・	⊙米ヒバ	・	

（イ）堅木と図示の樹種は、ナラ、シオジ、セン、タモ、とし等級は１等とする。
（ロ）表面仕上げ
見え掛り面は原則としてかんな削り仕上げとする。　（12．1．4）
表面の仕上げの程度　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　（表12．1．1）（12．2．2）

3 集成材

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
・構造用集成材	※１級　・２級	・	
・造作用集成材	※１級　・２級	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１級　・２級	・	・

4 接着剤
（12．2．6）
フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
また、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。

6 防蟻処理
行う箇所（・　）　（12．2．9）
防蟻剤　・(社)日本しろあり対策協会認定薬剤　・　（12．2．10）

7 防虫処理
ラワン材を使用する場合は「広葉樹製材の日本農林規格」の防虫処理剤の規格品とする。

8 ころばし根太等
２ヶ所以上に有効な換気孔を設ける。

⑭　金属工事

1 鉄の亜鉛めっき
（14．2．3）（表14．2．2～表14．2．4）

施工箇所	亜鉛めっきの種別	付着量等の種別
	・Ａ種	・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
	・Ｂ種	・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種

② 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　屋内　※１９型　・２５型　（14．4．1）（表14．4．1）
屋外　・１９型　※２５型

③ 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナー等の種類　（14．5．2）（表14．5．1）
※14．5．1による。

4 手すり及びタラップ
（14．6．2）（14．6．3）

種類	材種	表面処理の種別
手すり	⊙ステンレスSUS 304 ⊙鋼製	亜鉛めっきの場合※表14．2．2のＡ種 ・表14．2．3のＣ種
タラップ	⊙ステンレスSUS 304 ・鋼製	

5 金属成形板張り
（14．7．2）

材種	製法	形状	寸法（mm）	表面処理
・アルミニウム	・押出し　・プレス ・ロール		板厚２．０ 板幅	Ｂ－２(ｽﾃﾝ)
・鉄板	・押出し　・プレス ・ロール		板厚１．６ 板幅７５０	焼付塗装

6 アルミニウム製笠木
部材の種類　・２５０型　・３００型　⊙３５０型（14．8．2）（表14．8．1）
※Ｂ－１種　・Ａ－１種　・Ｂ－２種(ｽﾃﾝ)（14．8．2）（表14．2．1）

7 ルーフドレイン
鋳鉄製　防虫処置　（表13．5．1）

8 とい
材種　・配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管ｶﾗｰ　（13．6．2）（表13.6.1）
・ｱﾙﾐ管ｶﾗｰ　・SUS管ｶﾗｰ
鋼管製といの防露　※「共仕」表13.6.5による　（13．6．3）（表13.6.5）
掃除口　※有り　・無し
ルーフドレンの製造所「評価名簿」による　（13．6．2）（表13.6.1）

⑨ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
（14．2．2）（表14.2.1）

種別	色合い	施工箇所
・Ｂ－１種	無着色	図示による
⊙Ｂ－２種	ブラウン系 ブラック ステンカラー	
・		

⑮　左官工事

① モルタル塗り材料
吸水調整材　（15．2．2）
製造所「評価名簿」による。
防水剤（防水モルタル塗りの混入材）　（15．2．2）
製造所「評価名簿」による。

② 床コンクリートの直均し仕上げ
下表以外は「共仕」表６．２．４及び「共仕」15.(表6.2.4)による。(15．3．1)(15．3．2)

施工箇所	平たんさ（mm）	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	１ｍにつき１０以下	
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	３ｍにつき７以下	

③ 仕上塗材仕上げ
（15．5．2）（表15.5.1）

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	⊙砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
⊙複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理si　※凹凸模様
	・可とう形複層塗材ＣＥ	耐候性　※３種　・
・外装吹付タイル	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
・内装吹付タイル	・複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	⊗複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系
・軽量骨材仕上塗材	吹付用計量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

防火材料の指定　（15．5．2）
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

4 ロックウール吹付け
仕上げ吹付け厚さ等は、下記による。
（イ）厚さ（mm）　・
（ロ）色彩　・原色　・着色

16　建具工事

1 見本の製作等
・特殊な建具の仮組等（建具番号：　（16．）1．4）

2 アルミニウム製建具
外部に面する建具の性能値等　（16．2．2）（16．2．4）（表16.2.1）

種別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	⊗７０（(注)共）	内、外サッシ
⊙Ｂ種	Ｓ－５	⊙Ａ－４	⊙Ｗ－５	⊙１００	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

表面処理　（16．2．4）（表14.2.1）

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※Ｂ－１種	無着色
	・Ｂ－２種	※標準色(・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	・	
内部建具	※Ｃ－１種又はＢ－	無着色
	※Ｃ－２種又はＢ－	※標準色(・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

3 網戸
防虫網　（16．2．3）
網の種別・合成樹脂製⊙ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレス製（ＳＵＳ３１６）
形式　※外部可動式　・固定式

4 鋼製建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　（16．3．2）（表16.3.1）
⊙適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性　（16．3．2）（表16.2.1）
・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅９５０mm又は有効高さ２，１００mmを越える場合）
※下表以外は表16.3.2による。　（16．3．4）（表16.3.2）

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	２.３
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	２.３
	戸	中骨	２.３

・図示

5 標準型鋼製建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 3．2）（16．3．6）（表16.3.1）
・適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性　（16．3．2）（16．3．6）（表16.3.1）
・Ｓ－４　⊙Ｓ－５　・Ｓ－６

6 鋼製軽量建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　（16．4．2）（表16.3.2）
・適用する（適用箇所は建具表による）

7 標準型鋼製軽量建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 4．2）（16．4．6）（表16.3.2）
・適用する（適用箇所は建具表による）

8 ステンレス製建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 3．2）（16．5．2）（表16.3.1）
・適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性　（16．3．2）（16．5．2）（表16.2.1）
⊙Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・No８鏡面仕上げ　・　（16．5．4）
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）　（16．5．5）

9 木製建具
フラッシュ戸の表面材の種類　（16．6．2）（表16.6.2）（表16.6.6）
※難燃合板　・ポリ合板
かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子
枠及び靴ずりの材料
枠　※木枠　・
靴ずり　※ステンレス　・木製
接着剤は、フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
また、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。

10 建具用金物
マスターキー　※製作する　・製作しない　（16．7．4）
建具用金物　（表16.7.1）

金物の種類		製造所
モノロック	本締まり付きモノロック	「評価名簿」による
シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	
ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ		

11 自動ドア開閉装置
自動ドアの開閉機構　(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)(表16.8.2)(表16.8.3)

開閉方法	センサーの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ・電子マットスイッチ　・タッチスイッチ ※光線スイッチ　・音波スイッチ　・ペダルスイッチ ・熱線スイッチ・光電スイッチ・押しボタンスイッチ

凍結防止措置　※行わない　・行う（　）　（16．8．3）
製造所　大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。

12 自閉式上吊り引戸装置
製造所「評価名簿」による　（16．9．2）

⑱　塗装工事

① 材料
※屋内の壁・天井仕上げ材　（18．1．3）
防火材料とする。
フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
トルエン等の含有量が少ない規格品とする。

② 塗装業者
※日本塗装工業会の会員　・監督員承諾を得た業者

③ 素地ごしらえ
亜鉛メッキ面の素地ごしらえの種別　（18．2．4）（表18.2.3）

種別	施工部位及び塗料種別
Ａ種	鋼板の建具及び、２液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗りの場合
Ｂ種	Ａ種、Ｃ種以外
Ｃ種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

石膏ボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 2．7）（表18.2.7）
種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　）

4 常温乾燥形ふっ素樹脂クリヤ塗り
適用範囲　コンクリート及び押出成形セメント板素地面

工程		塗料その他	塗付け量（kg/㎡）
1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	――
2	下塗り（１回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）	０.０８
3	下塗り（２回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）	０.０８
4	中塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス	０.１０
5	上塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス	０.１０

5 床用塗料塗り
材質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗のうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は０.５kg/㎡以上とする。

6 防塵用塗料塗り
材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０.２５kg/㎡以上とする。

⑦ 錆止め塗料塗り
錆止め塗料塗りは、下記による。　（表18.3.3）
（イ）鉄面錆止め塗料塗り　見掛かり部分Ａ種　見隠れ部分Ｂ種（表18.3.4）
（ロ）亜鉛メッキ面錆止め塗料塗り　鋼製の建具Ａ種　その他Ｂ種

⑲　内装工事

① ビニル床シート張り
（18．2．2）

種別	種類	記号	色柄	厚さ(mm)	品質・規格
ビニル床シート	※発泡層のないもの ・発泡層のあるもの	※ＮＣ ・ ・	※無地 ・柄 ・	・２．０ ※２．５ ・２．８	※JIS A 5705による。 ・

工法　（18．2．3）
・突付け　施工箇所
・熱溶接　施工箇所　全て

2 ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
（18．2．2）

材種	材種		厚さ（mm）
・ビニル床タイル	・ホモジニアスビニル床タイル		※２
	・コンポジションビニル床タイル	半硬質	・３．０
	・コンポジションビニル床タイル	軟質	
	・ナイロンコード起毛ラバータイル		・１１．５

3 帯電防止床タイル
（18．2．2）

材種	性能	厚さ（mm）
帯電防止床タイル	・制電性：人体帯電圧０．５ＫＶ以下	・４．５mm

④ ビニル巾木
材種　※軟質　・硬質　（18．2．2）
厚さ（mm）　※２　・　（18．2．2）
高さ（mm）　・６０　⊗７５　・３００

5 弾性ウレタン塗り床材
仕上げの種類　（18．3．3）（表18．3．3）
※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ

6 エポシキ樹脂塗り床材
仕上げの種類　（18．3．3）（表18．3．4～表18．3．7）
・薄膜流し展べ仕上げ　・つや消し仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

7 既製間仕切り
JIS A 6512 によるほか次による。

構造形式	表面材質及び厚さ（mm）	仕上げ	品質・性能
⊙パネル式	⊙鋼板 （・0.6・0.8　・　）	⊙メラミン樹脂塗装又はアクリル樹脂塗装焼付け塗装	※ＪＩＳＡ６５１２による。
・スタッド式			
・スタッドパネル式	・	・	・

⑧ 石こうボード及びその他ボード張り
ＪＩＳの規格品とする。　（18．4．2）

材種	種別		厚さ（mm）	性能・品質
⊙石こうボード		壁	・９．５（準不燃） ※１２．５（不燃） ・１５（不燃）	ＪＩＳ Ａ ６９０１の規格品
		天井	・９．５（準不燃） ※１２．５（不燃） ・１５（不燃）	
⊙化粧石こうボード	普通	⊙トラバーチン	※９．５（不燃） ・９．５（準不燃）	ＪＩＳ Ａ ６９０１の規格品
		・木目模様	・９．５（準不燃） ・	
⊙ロックウール化粧吸音板	※内部用 ・軒天用	普通	⊙９　・１２	ＪＩＳ Ａ ６３０７の規格品
		立体模様	・１２　・１５　・１９	
⊙無石綿けい酸カルシウム板	比重１．０以上		・６　・８　・１０ ・１２　・２５	ＪＩＳ Ａ ５４１８の規格品 ノンアスベストのもの
・シージング石こうボード			・９　・１２．５　・１５	ＪＩＳ Ａ ６９１２の規格品
・石綿板			・４　・５　・６	

9 フローリング張り
フローリング張りの種類　（18．5．2）
・複合１種フローリング　・複合２種フローリング　・複合３種フローリング
・
樹種　※和室は桧又は松　（18．5．2）
工法　※釘止め工法（種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種）5．2）（18．5．5）

⑩ ビニールクロス張り
（18．6．2）

施工箇所	品質	防火性能の級別
図示	ＡＡランク	⊙１級　⊙２級
		・１級　・２級

製造所

⑪ 畳敷き
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　（表18．7．2）

⑳　ユニット及びその他工事

1 階段滑止め
材種　・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）ビニルタイヤ入り　（23．2．2）
幅（mm）　・約３５　（23．2．2）
取付工法　※埋込み工法　・接着工法　（23．2．2）

2 トイレブース
高圧メラミン樹脂化粧板　ｔ４０　（23．2．5）
笠木：ステンレス⊔型H．L
製造所

3 ブラインド
（22．2．6）

材種	※横形ブラインド	※縦形ブラインド
スラット	※アルミニウム合金	・アルミニウム合金　・クロス
開閉方式	※ギヤ式　・コード式	
スラットの成形幅（mm）	※２５	・８０　・１００

4 カーテン
（23．2．7）（表23．2．1）

きれ地の品質等	ひだの種類	形式	引分け装置
一般	・Ａ種　・Ｂ種　⊙Ｃ種	⊙片引き　・引分け	・あり　⊙なし
	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	・片引き　・引分け	・あり　・なし

・Ａ種：フランスひだ　Ｂ種：箱ひだ・つまひだ　Ｃ種：プレーンひだ・片ひだ

5 コーナービード
材種　※ステンレス　・アルミニウム合金　・亜鉛鉄板　（23．2．12）

6 掲示板等
場所　図示による　（23．2．8）

7 鏡
場所　図示による　（23．2．9）

8 ピクチャーレール
材種　・ステンレス製　・アルミニウム製
施工箇所：係り員の指示による

9 ブラインドボックス及びカーテンボックス
・スチールt1.2ＳＯＰ
溝幅×深さ（　）mm　※120×150

10 可動間仕切
表面材　合板ｔ＝５．５
製造所　小松ウォール、日本ファイリング、オカムラ

11 天井見切縁
材種　※アルミニウム製　⊙塩ビ製

⑫ 点検口

形式	材種	寸法	形式	製造所
天井	※アルミニウム製 ・	・４５０×４５０ ・６００×６００ ・	・額縁タイプ ・目地タイプ ・	
床	※アルミニウム製 ・ステンレス製	・４５０×４５０ ・６００×６００ ・		

15 洗面カウンター
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石（品質　※図示）
奥行き（mm）　・約450　・約600

17 ユニットシャワー
市販品

18 流し台　ミニキッチン
市販品
材種　ステンレス製　図示　※優良住宅部品

23 くつふきマット
材種　・塩化ビニル又はゴム　（受わく　ステンレス鋼　（SUS304）
・硬質アルミニウム合金　（受わく　硬質アルミニウム合金）
・ステンレス鋼（SUS304）（受わく　ステンレス鋼　）（SUS304）

24 視覚障害者用誘導床材
材種　・塩化ビニル系
・レジンコンクリート系　厚さ（mm）　※３０
・磁器質タイル系

26 旗竿受金物
材種　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）

附近見取図
配置図　1／600
前面道路
敷地境界線
道路
陶芸用作業室
駐車場
5台
生涯学習センター
②
駐車場
2台
庁舎渡り廊下
職員出入口
図書室テラス
駐車場
2台
役場庁舎
①
テラス
車庫・倉庫
N
JOB NO.
112017
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題
附近見取り図.配置図
縮尺
A1:1/300
A3:1/600
図番
A — 02

1.ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ廻り
(1)壁ﾀｲﾙ面の 全面打診診断
(2)壁ﾀｲﾙ貼の 亀裂.浮き部補修
(3)絵画等再固定 5ヶ所
3.事務室
(1)天井撤去及び復旧
(2)
2階平面図 1/250
別途工事（機械設備）
5.空調設備更新（機械室内外）
(1)吸収式冷温水機・全熱交換機
(2)クーリングタワー・冷却水配管
(3)オイルサービスタンク塗装
6.冷温水配管の調査
（システム全体）
PH階平面図 1/250
PH階屋根平面図 1/250
1.ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ廻り
(1)壁ﾀｲﾙ面の 全面打診診断
(2)壁ﾀｲﾙ貼の 亀裂.浮き部補修
(3)絵画等再固定
車寄せ
2.宿直室
(1)天井撤去及び復旧
(2)床畳撤去及び復旧
(3)設備吸気口 ﾌｰﾄﾞ改修
1階平面図 1/250
1.ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ廻り
(1)壁ﾀｲﾙ面の 全面打診診断
(2)壁ﾀｲﾙ貼の 亀裂.浮き部補修
(3)絵画等再固定
3階平面図 1/250
凡例
竪穴区画を示す
防火区画線を示す
特定防火設備 (甲種防火戸)(煙感知器連動)
特定防火設備 (常閉式) (甲種防火戸)
特定防火設備シャッター
特定防火設備 (甲種防火戸)
防火設備 (乙種防火戸)
非常用進入口を示す
非常照明 (ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵及び別置き)
防煙垂れ壁を示す
JOB NO. 111048
2012 年 07 月
宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事
一級建築士事務所
株式会社浦建築研究所
一級建築士 第276761号 浦 淳
設計
標題 各階平面図
縮尺 A1:1/250 A3:1/500
図番 A — 03

	改修前	改修後
室名	宿直室８帖	宿直室８帖
床	ﾀﾀﾐ敷き　床下地 下地ﾈﾀﾞﾎｰﾑ+2.7合板	ﾀﾀﾐ敷き入替え 下地ﾈﾀﾞﾎｰﾑ改修
巾木	ﾀﾀﾐ寄せ	既存のまま
壁	M+ｼﾞｭﾗｸ壁	既存のまま
天井	L+杉化粧PB9.5	LP9+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ（杉柾）
廻縁	木	既存のまま
		天井点検口450角　2ヶ所新設

	改修前	改修後
室名	宿直室4.5帖	宿直室4.5帖
床	ﾀﾀﾐ敷き　床下地 下地ﾈﾀﾞﾎｰﾑ+2.7合板	ﾀﾀﾐ敷き入替え 既存のまま
巾木	ﾀﾀﾐ寄せ	既存のまま
壁	M+ｼﾞｭﾗｸ壁	既存のまま
天井	L+杉化粧PB9.5	既存のまま
廻縁	木	既存のまま

	改修前	改修後
室名	事務室	事務室
床	CPT OAフロアー	既存のまま
巾木	VSH75	既存のまま
壁	M+EP	既存のまま
天井	LP9+RB9	LP9+RB9　張替え
廻縁	塩ビ	既存のまま

JOB NO. 111048	2012 年 07 月	宝達志水町役場庁舎機械設備等改修工事	一級建築士事務所 株式会社浦建築研究所	一級建築士 第276761号 浦 淳	設計 ・ ・	標題 1階宿直室.2階事務室廻り改修図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図番 A － 06